

# 2010年度研究助成・研究業績

## 1.研究助成+民間セクター臨床研究寄附金

1. 文部科学省科学研究費補助金：基盤研究C一般、課題番号21591342 急性脳炎における抗グルタミン酸受容体抗体の産生機序と病態における役割の研究、高橋幸利（研究代表者）91万円（直接：70+70）+21万円（間接：21+0）。
2. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究、研究代表者：大槻泰介、井上有史（分担研究者）80万円。
3. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する研究、研究代表者：小長谷正明、溝口功一（分担研究者）80万円。
4. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究、研究代表者：糸山泰人、溝口功一（分担研究者）250万円。
5. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究、研究代表者：今井尚志、溝口功一（分担研究者）60万円。
6. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)、H20-こころ一般-021、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究、高橋幸利（研究代表者）450万円(班総額1800万円)。
7. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）、H21-生物資源一般-007、難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築、高橋幸利（研究分担者）300万円。
8. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（神経・筋分野））、側頭葉てんかん外科手術後の記憶障害機構の解明（課題番号：H22-神経・筋一般-017）主任研究者：臼井桂子 500万円
9. 平成22年度精神・神経疾患研究開発費、22-3てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究、主任研究者：渡辺雅子、高橋幸利（分担研究者）120万円。
10. 平成22年国立病院機構 政策医療ネットワーク共同研究（I）、急性脳炎・脳症後遺症治療と自己免疫病態、高橋幸利（主任研究者）460万円（班総額1000万円）。
11. 平成22年国立病院機構 政策医療ネットワーク共同研究（I）側頭葉てんかんの手術後の薬物治療の現状と服薬の漸減中止または継続に関連する要因の検討、松田一己（主任研究者）、200万円（班総額500万円）
12. 国立病院機構ネットワーク研究、長期経過した筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の臨床所見、画像所見及び遺伝子解析の検討、小尾智一、八木宣泰、杉浦明、山崎公也、溝口功一、37.5万円。
13. 平成22年度国立病院機構共同臨床研究 課題の研究費：NHOネットワーク共同研究神経・筋疾患、H20-政I(神経)-05：筋萎縮性側索硬化症における髄液中バイオマーカーの探索、山崎公也（分担研究者）35万円。
14. 平成22年度 国立病院機構共同臨床研究（NHOネットワーク共同研究）、国立病院機構における重症心身障害医学の福祉・生活支援の視点での組織的・実践的取り組みに関する総合的研究。主任研究者：宮野前健、500万円、セイフティネットとしての在宅支援・地域社会との連携—国立病院機構の在宅支援について。分担研究者：山内慎吾、20万円。
15. (株)白寿生科学研究所の寄附、「DC電位の脳内発生メカニズムと機能に関する研究における高電界負荷の神経・精神疾患に対する治療効果検討に対する助成、高橋幸利、50万円、2010年12月27日。
16. グラクソスミスクライン(株)臨床研究寄付金、井上有史、100万円
17. 大日本住友製薬、抗パーキンソン病薬の運動症状、副作用と、認知機能への影響、八

## 2.研究業績：学術刊行物（学術雑誌、学術書など）

1. 高橋幸利、てんかんの捉え方、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 2-8、診断と治療社、2010年4月発行.
2. 高橋幸利、てんかん発病のメカニズム、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 9-16、診断と治療社、2010年4月発行.
3. 高橋幸利、てんかんの診断から治療の流れ、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 17-23、診断と治療社、2010年4月発行.
4. 重松秀夫、発作間欠時脳波でわかるてんかん発作・てんかん分類、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 57-66、診断と治療社、2010年4月発行.
5. 重松秀夫、発作時脳波でわかるてんかん発作・てんかん分類、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 67-75、診断と治療社、2010年4月発行.
6. 松田一己、小児てんかんの画像診断、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 76-85、診断と治療社、2010年4月発行.
7. 高橋幸利、てんかんの血液検査、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 86-91、診断と治療社、2010年4月発行.
8. 今井克美、てんかんの薬物療法の基本、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 92-101、診断と治療社、2010年4月発行.
9. 池上真理子、抗てんかん薬各論 1.カルバマゼピン（CBZ）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 102-103、診断と治療社、2010年4月発行.
10. 高山留美子、抗てんかん薬各論 4.バルプロ酸（VPA）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 109-110、診断と治療社、2010年4月発行.
11. 最上友紀子、抗てんかん薬各論 5.フェノバルビタール（PB）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 111-112、診断と治療社、2010年4月発行.
12. 堀米ゆみ、抗てんかん薬各論 6.エトスクシミド（ESM）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 113-114、診断と治療社、2010年4月発行.
13. 向田壮一、抗てんかん薬各論 8.クロナゼパム（CZP）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 117-118、診断と治療社、2010年4月発行.
14. 大谷英之、抗てんかん薬各論 10.ガバペンチン（GBP）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 121-122、診断と治療社、2010年4月発行.
15. 高橋宏佳、抗てんかん薬各論 11.トピラマート（TPM）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 123-124、診断と治療社、2010年4月発行.
16. 日吉俊雄、抗てんかん薬各論 12.エトイン（EHN）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 125-126、診断と治療社、2010年4月発行.
17. 池上真理子、抗てんかん薬各論 13.臭化カリウム（KBr）、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 127-128、診断と治療社、2010年4月発行.

18. 寺田清人、抗てんかん薬各論 14.レベチラセタム (LEV)、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 129-130、診断と治療社、2010年4月発行.
19. 最上友紀子、抗てんかん薬各論 15.スルチアム (ST)、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 131、診断と治療社、2010年4月発行.
20. 高山留美子、抗てんかん薬各論 16.ビタミンB<sub>6</sub>製剤 (Vit B<sub>6</sub>)、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 132-133、診断と治療社、2010年4月発行.
21. 山本吉章、治療薬の展望、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 134-137、診断と治療社、2010年4月発行.
22. 今井克美、小児てんかんに対するケトン食療法、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 138-144、診断と治療社、2010年4月発行.
23. 今井克美、てんかんのACTH療法、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 145-151、診断と治療社、2010年4月発行.
24. 馬場好一、外科治療、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 152-162、診断と治療社、2010年4月発行.
25. 臼井直敬、脳梁離断術、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 163-167、診断と治療社、2010年4月発行.
26. 馬場好一、梅岡秀一、迷走神経刺激、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 168-171、診断と治療社、2010年4月発行.
27. 高橋幸利、遺伝カウンセリング、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 172-178、診断と治療社、2010年4月発行.
28. 芳村勝城、内側側頭葉てんかん、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 185-194、診断と治療社、2010年4月発行.
29. 池田浩子、後頭部に突発波をもつ小児てんかん,Panayiotopoulos症候群、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 204-209、診断と治療社、2010年4月発行.
30. 大谷英之、West症候群、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 238-245、診断と治療社、2010年4月発行.
31. 大谷早苗、ミオクロニー失立発作てんかん、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 256-263、診断と治療社、2010年4月発行.
32. 四家達彦、藤原建樹、乳児重症ミオクロニーてんかん (Dravet症候群)、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 264-271、診断と治療社、2010年4月発行.
33. 三島信行、幾見泰洋、後藤一純、薬をいやがる子どもに薬を飲ませる方法、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 288-293、診断と治療社、2010年4月発行.
34. 中澤光代、家庭でできる療育、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 300-303、診断と治療社、2010年4月発行.
35. 杉山 修、保育者や教師への指導—保育園・幼稚園や学校での生活、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 310-317、診断と治療社、2010年4月発行.
36. 杉山 修、広汎性発達障害を合併するてんかんをもつ子どもへの接し方—家庭・学校生活、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 318-322、診断と治療社、2010年4月発行.
37. 久保田英幹、専門病院(専門医)との連携,紹介のタイミング、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 323-326、診断と治療社、2010年4月発行.

38. 堀 友輔、医療福祉相談室からの提言—知っておくと便利な制度、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 327-331、診断と治療社、2010年4月発行。
39. 重松秀夫、診療報酬に関するアドバイス、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 332-335、診断と治療社、2010年4月発行。
40. 井上有史、てんかんと自動車運転免許、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 336-339、診断と治療社、2010年4月発行。
41. 山崎悦子、てんかん患者の妊娠、監修：藤原建樹、編集：高橋幸利、小児てんかん診療マニュアル改訂第2版、p 340-343、診断と治療社、2010年4月発行。
42. Matsuura M, Inoue Y (eds). Neuropsychiatric issues in epilepsy. John Libbey, Montrouge, 2010.
43. Nishida T, Inoue Y. Affective and anxiety disorders in children with epilepsy. In: Matsuura M, Inoue Y ed., Neuropsychiatric issues in epilepsy, John Libbey, Montrouge, 2010:105-114.
44. Inoue Y, Hashimoto M, Matsuda K. Epilepsy surgery and employment. In: Matsuura M, Inoue Y ed., Neuropsychiatric issues in epilepsy, John Libbey, Montrouge, 2010:225-234.
45. Inoue Yushi, Seizures Induced by Thinking and Praxis. In: The Atlas of Epilepsies, edited by Panayiotopoulos CP. Springer-Verlag, 2010: 1105-1107.
46. 寺田清人、井上有史、レベチラセタムのてんかん治療における意義、兼子直編：てんかんの薬物療法、p 22-115、新興医学出版社、2010年発行
47. 井上有史、てんかん、特集：この10年間で精神科治療はどう変わったか、精神科2010;16(5):434-40.
48. 小出泰道、井上有史、てんかん、診療ガイドライン up-to-date2010、メディカルレビュー、2010年発行
49. 寺田清人、井上有史、Levetiracetamの臨床効果、臨床精神薬理、2010;13:1685-1691.
50. 鎌田泉、井上有史、“てんかん”と“けいれん”：静注用フェノバルビタール製剤の効能・効果をめぐって：解説、臨床評価 2011;38(4):895-897.
51. Usui K, Matsuda K, Terada K, Nikaido K, Matsushashi M, Nakamura F, Umeoka S, Usui N, Tottori T, Baba K, Inoue Y. Epileptic negative myoclonus: a combined study of EEG and [123I]iomazenil (123I-IMZ) single photon emission computed tomography indicating involvement of medial frontal area. *Epilepsy Res.* 2010 May;89(2-3):220-226. Epub 2010 Feb 4. PubMed PMID: 20133106. IF=2.479
52. Nakayama T, Ogiwara I, Ito K, Kaneda M, Mazaki E, Osaka H, Ohtani H, Inoue Y, Fujiwara T, Uematsu M, Haginoya K, Tsuchiya S, Yamakawa K. Deletions of SCN1A 5' genomic region with promoter activity in Dravet syndrome. *Hum Mutat.* 2010 Jul;31(7):820-829. IF=6.887
53. Fukao K, Inoue Y, Yagi K. Magnetoencephalographic correlates of different types of aura in temporal lobe epilepsy. *Epilepsia.* 2010 Sep;51(9):1846-1851. IF=4.052
54. Yu L, Terada K, Usui N, Usui K, Baba K, Inoue Y. Ear movement induced by electrical cortical stimulation. *Epilepsy Behav* 2010 Aug;18(4):488-490. IF=2.610
55. Ren L, Terada K, Baba K, Usui N, Umeoka S, Usui K, Matsuda K, Tottori T, Nakamura F, Mihara T, Inoue Y. Ictal Very Low Frequency Oscillation in Human Epilepsy Patients. *Ann Neurol* 2011;69:201-206. IF=9.317
56. Koide Y, Inoue Y, Bayasgalan B. Epilepsy care in Mongolia: current problems and future prospects. *Neurology Asia* 2010;15:263-266.
57. Shimizu-Okabe C, Tanaka M, Matsuda K, Mihara T, Okabe A, Sato K, Inoue Y, Fujiwara T, Yagi K, Fukuda A. KCC2 was downregulated in small neurons localized in epileptogenic human focal cortical dysplasia. *Epilepsy Res.* 2011; 93(2-3): 177-184. IF=2.479
58. 兼子直、井上有史、飯島正文、石田篤子、井尻章悟、てんかん患者を対象としたラモトリギン錠の使用成績調査、新薬と臨床 2011;60:431-457.
59. Sakuma H, Awaya Y, Shiomi M, Yamanouchi H, Takahashi Y, Saito Y, Sugai K, Sasaki M., Acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizures (AERRPS): a peculiar form of childhood encephalitis., *Acta Neurol Scand.* 2010 Apr;121(4):251-256. Epub 2009 Dec 17. IF=2.324

60. Kashihara K, Ohno M, Takahashi Y. Twenty-one-year course of adult-onset Rasmussen's encephalitis and bilateral uveitis: case report. *J Neurol Sci.* 2010 Jul 15; 294(1-2): 127-130. IF=2.324
61. Muto Ayako, Hirokazu Oguni, Yukitoshi Takahashi, Yukiyoshi Shirasaka, Yukio Sawaishi, Tamami Yano, Toru Hoshida, Hitoshi Osaka, Satoru Nakasu, Noriyuki Akasaka, Kenji Sugai, Akie Miyamoto, Satoru Takahashi, Motomasa Suzuki, Iori Ohmori, Shin Nabatame, Makiko Osawa, Nationwide survey (incidence, clinical course, prognosis) of Rasmussen's encephalitis, *Brain Dev.* 2010 Jun; 32(6): 445-453. Epub 2009 Nov 25. IF=1.743
62. Yoshikawa T, Asano Y, Takahashi Y, Detection of DNA of six human herpesviruses in the cerebrospinal fluid of immunocompetent non-herpetic acute limbic encephalitis patients. *Microbiol Immunol.* 2010; 54(8): 471-474. IF=1.562
63. Tachibana Naoko, Takashi Shirakawa, Keiko Ishii, Yukitoshi Takahashi, Keiko Tanaka, Kunimasa Arima, Takuhiro Yoshida, Shu-ichi Ikeda, Expression of various glutamate receptors including *N*-methyl-D-aspartate receptor (NMDAR) in an ovarian teratoma removed from a young female with anti-NMDAR encephalitis, *Internal Medicine*, 2010; 49: 2167-2173. IF=1.040
64. Kaniwa Nahoko, Yoshiro Saito, Michiko Aihara, Kayoko Matsunaga, Masahiro Tohkin, Kouichi Kurose, Hirokazu Furuya, Yukitoshi Takahashi, Masaaki Muramatsu, Shigeru Kinoshita, Masamichi Abe, Hiroko Ikeda, Mariko Kashiwagi, Yixuan Song, Mayumi Ueta, Chie Sotozono, Zenro Ikezawa, Ryuichi Hasegawa, for the JSAR research group8, *HLA-B\*1511* is a risk factor for carbamazepine-induced Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis in Japanese patients, *Epilepsia* 2010; 51:2461-2465. doi: 10.1111/j.1528-1167.2010.02766.x. IF=4.052
65. Tojo Kana, Kazuhito Nitta, Wataru Ishii, Yoshiki Sekijima, Hiroshi Morita, Yukitoshi Takahashi, Shu-ichi Ikeda, A young man with anti-NMDAR encephalitis following Guillain-Barré syndrome, *Case Rep Neurol* 2011; 3: 7-13.
66. Hatano Taku, Yoshiaki Shimada, Ayako Kono, Shin-ichiro Kubo, Kazumasa Yokoyama, Asako Yoritaka, Toshiki Nakahara, Yukitoshi Takahashi, Nobutaka Hattori, Atypical Miller Fisher syndrome associated with glutamate receptor antibodies. *BMJ Case Reports* 2011; doi:10.1136/bcr.08.2010.3228.
67. Takahashi Yukitoshi, Hisashi Mori, Masayoshi Mishina, Masahiko Watanabe, Naomi Kondo, Jiro Shimomura, Yuko Kubota, Kazumi Matsuda, Katsuyuki Fukushima, Naohide Shiroma, Noriyuki Akasaka, Hiroshi Nishida, Atsushi Imamura, Hiroo Watanabe, Nobuyoshi Sugiyama, Makoto Ikezawa, Tateki Fujiwara, Autoantibodies to NMDA-type GluR2 in patients with Rasmussen's encephalitis and chronic progressive epilepsy partialis continua, *Epilepsia* in press. IF=4.052
68. Shimojima Keiko, Chitose Sugiura, Hiroka Takahashi, Mariko Ikegami, Yukitoshi Takahashi, Kousaku Ohno, Mari Matsuo, Kayoko Saito, Toshiyuki Yamamoto, Genomic copy number variations at 17p13.3 and epileptogenesis, *Epilepsy Research*, in press. IF=2.479
69. Nomura Yuki, Michiko Aihara, Setsuko Matsukura, Yuko Ikezawa, Takeshi Kambara, Yukoh Aihara, Yukitoshi Takahashi, Zenro Ikezawa, Evaluation of serum cytokines levels in toxic epidermal necrolysis and Stevens-Johnson syndrome in compared with other delayed-type adverse drug reactions, *The Journal of Dermatology*, in press. IF=1.008
70. 高橋幸利、須佐史信、那須裕郷、てんかん、監修：横田千津子、他、病気と薬パーフェクトBOOK2011、薬局、62 (4) :1469-1477.
71. 高橋幸利、パネルディスカッション、A:ヘルペス脳炎と非ヘルペス脳炎の最近のトピックス、自己免疫性脳炎・脳症の病態・診断・治療、第17回Japan Herpesvirus infections Forum、ヘルペス感染症研究会、印刷中。
72. 高橋幸利、予防接種は受けても大丈夫ですか？、編集：井上有史、池田 仁、てんかんと向き合うための本、南江堂、印刷中。
73. 高橋幸利、患者としててんかん診療の進展に協力するにはどうしたらよいでしょうか？、編集：井上有史、池田 仁、てんかんと向き合うための本、南江堂、印刷中
74. 高橋幸利、最上友紀子、高山留美子、神経疾患と抗 NMDA 型グルタミン酸受容体抗体、*Clinical Neuroscience* 2010; 28(4): 364-365.

75. 高橋宏佳、高橋幸利、美根 潤、向田壮一、池上真理子、池田浩子、大谷英之、下村次郎、久保田裕子、藤原建樹、Dravet 症候群における Topiramate の治療効果、脳と発達、2010; 42: 273-276.
76. 野口佐綾香、加賀佳美、高橋幸利、青柳閣郎、中村幸介、神谷裕子、中根貴弥、金村英秋、杉田完爾、相原正男、神経節神経腫による傍腫瘍症候群(抗 GluR $\epsilon$ 2抗体陽性)と考えられた反復性小脳失調症の一例、脳と発達、2010; 42: 297-301.
77. 高橋幸利、最上友紀子、高山留美子、池田浩子、今井克美、辺縁系脳炎とグルタミン酸受容体抗体、Brain and Nerve、2010; 62 (8) :827-837.
78. 高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、木村記子、須佐史信、那須裕郷、福山哲広、最上友紀子、高山留美子、池田浩子、今井克美、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎、小児科診療、2010; 73: 2149-2154.
79. 高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、神経疾患と分子マーカー、3.脳炎、Clinical Neuroscience 2010; 28(12):1392-1395.
80. 高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、木村記子、須佐史信、那須裕郷、山口解冬、福山哲広、村上智彦、自己免疫が関わる脳炎・脳症、小児科、2010; 51(12): 1737-1748.
81. 池田浩子、重松秀夫、今井克美、久保田裕子、久保田英幹、高橋幸利、井上有史、藤原建樹、ミオクロニー欠伸てんかんの臨床症状と経過、脳と発達、2011; 43 (1) :14-18.
82. 臼井大介、満田直美、細川卓利、藤枝幹也、高橋幸利、脇口宏、髄液中抗グルタミン酸受容体 $\delta$ 2および $\epsilon$ 2抗体陽性で転換性障害を合併した遷延性小脳失調症の1例、脳と発達、2011; 43(1): 41-45.
83. 庄司紘史、為数哲史、金子めぐみ、村岡範裕、小池文彦、田畑絵美、高橋幸利、非ヘルペス性辺縁系脳炎・周辺疾患の後遺症の研究、国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部・福岡看護学部紀要、2010; 6 :7-12.
84. 高橋幸利、久保田裕子、池田浩子、高山留美子、最上友紀子、池上真理子、向田壮一、大谷英之、大谷早苗、美根潤、重松秀夫、今井克美、小児難治てんかん症例における Lamotrigine の併用使用経験、日本小児科学会誌、2011; 115(3): 585-591.
85. 高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、須佐史信、那須裕郷、福山哲広、藤原由美、村上智彦、山口解冬、高山留美子、大谷英之、最上友紀子、池田浩子、今井克美、重松秀夫、けいれんを主症状とするてんかん、小児内科、2011; 43(3): 545-549.
86. 浜野宣行、高橋幸利、岡本明久、三木博和、阪本幸世、西憲一郎、中尾慎一、新宮興、誤嚥性肺炎を併発した非腫瘍性急性辺縁系脳炎の1症例、日本集中治療医学会雑誌、2010 ; 印刷中.
87. 高橋宏佳、今井克美、高山留美子、美根 潤、大谷早苗、池田浩子、久保田裕子、高橋幸利、井上有史、藤原建樹、修正ケトン食が著効した部分発作とスパズムの複合発作を有するてんかんの一小児例、脳と発達、印刷中.
88. 齊藤利雄、斎藤朋子、高橋幸利、穀内洋介、藤村晴俊、脳MRIで大脳基底核、視床枕、後頭・側頭葉皮質病変を呈し、抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった若年女性脳炎の1例、臨床神経学、印刷中.
89. 高橋幸利、山崎悦子、最上友紀子、高尾恵美子、笠井理沙、西村成子、脳炎と興奮毒性、細胞傷害性T細胞、Neuroinfection、2011 ; 印刷中.
90. 高橋幸利、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、須佐史信、那須裕郷、福山哲広、藤原由美、村上智彦、山口解冬、最上友紀子、高山留美子、池田浩子、今井克美、急性辺縁系脳炎、小児科診療、2011 ; 74 (6) 、印刷中.
91. 山本吉章、高橋幸利、西村成子、幾見泰洋、三島信行、賀川義之、CYP2C9およびCYP2C19のSNP迅速測定法の開発と小児てんかん患者への臨床応用、YAKUGAKU ZASSHI、印刷中.
92. 大江康子、中里良彦、大熊彩、田村直俊、高橋幸利、荒木信夫、反復する視覚異常と頭痛で発症し、髄液抗GluR $\epsilon$ 2抗体を呈した後頭葉てんかんの1例、臨床神経学、印刷中.
93. 池田修一、高橋幸利、飯塚高浩、亀井聡、抗NMDA受容体脳炎における未解決の間

題、最新医学、印刷中。

94. 福山哲広、池田浩子、高橋幸利、けいれん重積に対してのミダゾラムの点鼻はダイアップ坐剤より迅速に効くと報告されていますが、実際の使い方とその評価法を教えてください、小児内科、印刷中。
95. 藤木陽平、中嶋秀人、伊藤 巧、北岡治子、高橋幸利、抗グルタミン酸受容体抗体陽性を示した可逆性脳梁膨大部病変を有する脳症の1例、臨床神経学、印刷中。
96. Kubota Hidemoto, Yutaka Awaya, Assessment of health-related quality of life and influencing factors using QOLIE-31 in Japanese patients with epilepsy. *Epilepsy Behav* 2010;18:381-387. IF=2.610
97. 池田 仁、井上有史、spike-wave stupor、精神科治療学第25巻増刊号、p 352-353、星和書店、2010年10月発行
98. 池田 仁、井上有史、環状20版染色体、精神科治療学第25巻増刊号、p 34、星和書店、2010年10月発行
99. Yamamoto T, Shimojima K, Nishizawa T, Matsuo M, Ito M, Imai K. Clinical manifestations of the deletion of Down syndrome critical region including DYRK1A and KCNJ6. *Am J Med Genet A*. 2011 Jan;155A(1):113-119. IF=2.404
100. Otsuka M, Oguni H, Liang JS, Ikeda H, Imai K, Hirasawa K, Imai K, Tachikawa E, Shimojima K, Osawa M, Yamamoto T. STXBP1 mutations cause not only Ohtahara syndrome but also West syndrome. Result of Japanese cohorts study. *Epilepsia* 51, 2449-2452. 2010. IF=4.052
101. Shimojima K, Imai K, Yamamoto T. A de novo 22q11.22q11.23 interchromosomal tandem duplication in a boy with developmental delay, hyperactivity, and epilepsy. *Am J Med Genet A*. 2010 Nov;152A(11):2820-2826. IF=2.404
102. Usui N, Terada K, Baba K, Matsuda K, Nakamura F, Usui K, Tottori T, Umeoka S, Fujitani S, Mihara T, Inoue Y. Very high frequency oscillations (over 1000 Hz) in human epilepsy. *Clin Neurophysiol*, 2010; 121: 1825-1831. IF=3.122
103. Keiko Usui, Basal temporal language area. *Clin Neurophysiol*. 2010;121(S1):S59
104. Kawamata J, Ikeda A, Fujita Y, Usui K, Shimohama S, Takahashi R. Mutations in LGI1 gene in Japanese families with autosomal dominant lateral temporal lobe epilepsy: the first report from Asian families. *Epilepsia*. 2010;51:690-693. IF=4.052
105. 小出泰道、ガバペンチン、精神科 2011;18(2):169-172
106. 小出泰道、井上有史、治療薬 Up-To-Date2010 抗てんかん薬 P66-73
107. 小出泰道、心因性非てんかん発作(psychogenic nonepileptic seizure)の症候と臨床的特徴、協和発酵キリン学会短報
108. 重松秀夫、小児てんかん、脳とこころのプライマリケア 4 子どもの発達と行動、p335 - 343、2010年10月
109. 寺田清人、てんかん、今日の診療のためにガイドライン外来診療 2011、p 482-485、2011年発行
110. 寺田清人、井上有史、抗てんかん薬。治療薬ハンドブック 2010、p 43-67、2010年発行
111. 寺田清人、井上有史、抗てんかん薬。治療薬ハンドブック 2011、p 44-68、2011年発行
112. 臼井桂子、寺田清人、臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、梅岡秀一、藤谷繁、井上有史、てんかん外科治療における言語機能温存のための側頭葉底部言語野の機能解明。てんかん治療研究振興財団研究年報、21: 99-106、2010年
113. 千葉 茂、Bernhard Steinhoff、武田洋司、寺田清人、松本理器、再考「てんかん治療のゴールとは何か?」、臨床精神薬理、2010 ; 13: 2355-2363
114. 最上友紀子、急性期神経症状の増悪に対して血漿交換療法の追加が有効であった多発性硬化症の女児例、脳と発達、2011 ; 43 : 36-40
115. 八木和一他、成人難治部分てんかんに対するレベチラセタム併用療法の有効性と安全性—多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験—、てんかん研究、

2010 ; 28 : 3-6

116. 八木和一、Levetiracetam—新規抗てんかん薬への期待、臨床精神薬理、2010 ; 13: 1663-1670
117. 寺田達弘、小尾智一、宮嶋裕明、溝口功一、筋萎縮側索硬化症における Frontal Assessment Battery による前頭葉機能評価、臨床神経学 2010;50:379-384
118. Tatsuhiro Terada, Tomokazu Obi, Miho Yoshizumi, Toshiya Murai, Hiroaki Miyajima, Kouichi Mizoguchi: Frontal lobe-mediated behavioral changes in amyotrophic lateral sclerosis: are they independent of physical disabilities?, Journal of the Neurological Sciences, 投稿中 IF=2.324
119. 木村記子、岡田俊、ADHD とてんかんの併存における診断と治療、児童青年精神医学とその近接領域、2010;51(2):148-163.
120. 木村記子、岡田俊、児童期における摂食障害、精神医学、2010;52(5):467-475.
121. 木村記子、摂食障害 Q&A、こころのりんしょう a・la・carte 特集「摂食障害」、2010; 2(3): 309、339
122. 藤原建樹、トピラマートのてんかん治療における意義、兼子 直 編著 てんかんの薬物療法 p 67-80、新興医学出版社、東京、2010 年発行
123. 須貝研司、藤原建樹、池田昭夫他、小児てんかんの薬物治療終結のガイドライン、てんかん研究 2010; 28: 40-47.
124. 藤原建樹、池田昭夫、井上有史他、新規抗てんかん薬を用いたてんかんの薬物治療ガイドライン、てんかん研究 2011; 28: 48-64.
125. 藤原建樹、てんかん治療ガイドライン、日本重症心身障害学会誌、2010; 35: 57-61.
126. 池田昭夫、藤原建樹、井上有史他、高齢者のてんかんに対する診断・治療ガイドライン、てんかん研究、2011; 28: 509-514.
127. 藤原建樹、てんかん薬物治療の終結、Clinical Neuroscience 2011; 29: 62-66.
128. 山本吉章、井上裕貴、堀部千治、三島信行、簡易懸濁法を円滑に運用する上での病棟薬剤師の役割、医薬品情報学、2011; 12: 117-122
129. 山本吉章、専門薬剤師 Up-to-Date 神経筋疾患患者に対する抗 MRSA 薬の使用経験、薬事、2010; 52: 114
130. 山本吉章、井上有史、各疾患領域の治療の現状とメディカルニーズ DATA BOOK、技術情報協会、2010 年発行

### 3.研究助成報告書

1. 井上有史、てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究、精神・神経疾患研究委託費（19 指-6）総括研究報告書（主任研究者：井上有史）、2010 年 4 月発行
2. 井上有史、新抗てんかん薬治療標準化に関する調査研究。平成 21 年度国立病院機構共同臨床研究（研究分野：2-07）総括研究報告書（主任研究者：井上有史）、2010 年 4 月発行
3. 高橋幸利、てんかん外科治療を要した難治性てんかん患者に関する検討、平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築、平成 21 年度総括・分担研究報告書、p 5-14、2010 年 4 月発行.
4. 高橋幸利、Meilia M. Suriadi、西村成子、角替央野、高尾恵美子、最上友紀子、高山留美子、美根潤、池上真理子、向田壮一、大谷早苗、久保田裕子、大谷英之、池田浩子、今井克己、松田一己、山崎悦子、小出泰道、藤原建樹、井上有史、渡辺宏雄、今村淳。「てんかんの新たな免疫学的治療法の開発に関する研究」：Rasmussen 症候群のペプチド療法開発のための研究、平成 19-21 年度厚生省精神・神経疾患研究委託費 19 指-6 てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究、総合研究報告書、p 57-79、2010 年 4 月発行.
5. Hideyuki Ohtani, Ikuo Ogiwara, Sanae Ohtani, Yukitoshi Takahashi, Tateki Fujiwara, Kazuhiro



- Yamakawa, Yushi Inoue, Increased and sustained susceptibility to hyperthermia-induced seizures in a mouse model for severe myoclonic epilepsy in infancy, てんかん治療研究振興財団研究年報 2010;21:37-42.
6. 高橋幸利、研究成果等普及啓発事業 発表会(障害者対策総合研究事業)開催結果報告書、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究推進事業研究報告集、p65-66、平成 23 年 3 月発行.
  7. 高橋幸利、角替央野、高尾恵美子、笠井理沙、西村成子、最上友紀子、美根潤、今井克美、井上有史、赤坂紀幸、三牧正和、今村淳、Rasmussen 症候群における免疫調節遺伝子のゲノム解析:Cytotoxic T-lymphocyte-associated protein 4 (CTLA4) に関する研究、平成 22 年度精神・神経疾患研究開発費 22-2 てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究報告書(主任研究者 渡辺雅子)、p\_\_、2011 年発行予定.
  8. 高橋幸利、西村成子、角替央野、美根潤、久保田裕子、今井克美、松田一己、今村淳、藤原建樹、井上有史、Rasmussen 症候群とその類縁疾患の自己反応性細胞障害性 T 細胞・Th1 細胞の持続性活性化の病態解明から治療開発に向けた研究、てんかん治療研究振興財団研究年報、印刷中
  9. 高橋幸利、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究(H20-こころ-一般-021)総括・分担研究報告書、p1-50?、2011 年 3 月発行.
  10. 高橋幸利、抗 NMDA 型グルタミン酸受容体抗体の作用機序の検討、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究(H20-こころ-一般-021)総括・分担研究報告書、p1-50?、2011 年 3 月発行.
  11. 高橋幸利、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究(H20-こころ-一般-021)、平成 20 年度~22 年度 総合研究報告書、p1-50?、2011 年 3 月発行.
  12. 高橋幸利、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎における抗グルタミン酸受容体抗体の動態の検討、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究(H20-こころ-一般-021)、平成 20 年度~22 年度 総合研究報告書、p1-50?、2011 年 3 月発行.
  13. 高橋幸利、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎における抗グルタミン酸受容体抗体の動態の検討、平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究(H20-こころ-一般-021)、平成 20 年度~22 年度 総合研究報告書、p1-50?、2011 年 3 月発行.
  14. 久保田英幹、十一元三他、子どもの心のケアのために—災害や事件・事故発生時を中心にして、災害時における子どもの心のケアの進め方に関する検討会、文部科学省、2010 年 7 月発行
  15. 久保田英幹、こどものてんかん in 保健総合大百科、少年写真新聞社、P122-124、2011 年 2 月発行
  16. 臼井桂子、寺田清人、臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、梅岡秀一、藤谷繁、井上有史、松橋眞生、てんかん外科治療における言語機能温存のための側頭葉底部言語野の機能解明、てんかん治療研究振興財団研究年報、2010; 21: 99-106。
  17. 重松秀夫、Epileptic spasms の分類上の位置づけ、第 16 回漆山てんかん懇話会セミナーテキスト、2010 年 6 月 12 日発行.
  18. 重松秀夫、脳性麻痺とてんかん、H22 年度心身障害児療育指導者講習会テキスト、2010 年 7 月発行.
  19. 重松秀夫、全般てんかんの発作症状と脳波、てんかん学研究セミナーテキスト、2011 年 1 月発行.

#### 4. 研究業績：刊行物（一般啓蒙雑誌など）

1. 井上有史、MOSES ワークブック：てんかん学習プログラム、MOSES 企画委員会、クリエイツかもがわ、2010
2. 井上有史、Epilepsia 日本語版.
3. 井上有史、IE ニュース日本語版.
4. 井上有史、てんかん治療の最新情報、NHK きょうの健康 2010(7); 268: 82-85.
5. 福山哲広、睡眠時無呼吸、小児科臨床ピクシス 24 症状別 検査の選び方・進め方、p 96-97.
6. 三島信行、後藤一純、加藤正紀、家田直幸、山本吉章、幾見泰洋、宮川 紘、抗てんかん薬ポケットブック改訂第3版、日本てんかん協会（波の会）.
7. 杉山 修、てんかんのある子どもが学校生活を安心して送るために、『波』2010年9月号、p 270-272.
8. 杉山 修、てんかんを持つ生徒への支援のあり方・てんかんを持つ子どもの学校生活での対応、中学保健ニュース 2011年3月号、p 4-5.
9. 菅原洋平、PTOT 模擬試験 てんかん作業療法、第1回・2回 PTOT 模擬試験問題 2010年8月31日.
10. 菅原洋平、てんかんに対する作業療法の実際、図解作業療法技術ガイド第3版、2010年8月4日.
11. てんかん重責状態後出現した失行がてんかん外科と作業療法により改善した一症例、作業療法 リハビリテーション科.
12. 菅原洋平、左上肢低使用が運動の外言語化で改善した大脳皮質基底核変性症の1例、日本作業療法士協会電子ジャーナル 2010年12月1日.

#### 5. 学会・研究会等における発表

1. Yushi Inoue, Driving issues of patients with epilepsy in Japan. JES-KES joint symposium: Social issues of epilepsy. Seoul, Korea, June 18.2010
2. Yushi Inoue, Prevalence and nature of psychological disorders in epilepsy. Main symposium: Psychological wellbeing in epilepsy. 8th AOEC, Melbourne, October 24. 2010
3. Yushi Inoue, Memory problems in patients with medial TLE. ASEPA workshop: Epilepsy, memory and epilepsy surgery. 8th AOEC, Melbourne, October 21.2010.
4. Yushi Inoue, Lateralizing and prognostic seizure symptoms in medial temporal lobe epilepsy. Symposium 47 Epilepsy. 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, November 1.2010.
5. 溝口功一、他、筋萎縮性側索硬化症症例の認知機能、第51回日本神経学会、2010年5月21日、東京.
6. 石川邦子、溝口功一、他、静岡県西部地方の Creutzfeldt-Jakob 病の検討、第51回日本神経学会、2010年5月21日、東京.
7. 仲村卓郎、嶺間博隆、桑江涼子、下地圭、砂川信、宮里善次、玉那覇榮一、比嘉千明、高橋幸利、内藤悦雄、回復期に髄液乳酸値の上昇を認めた Leigh 脳症の1例、第113回日本小児科学会学術集会、2010年4月23-25日、盛岡.
8. 古山秀人、岡嶋真紀、横堀雄太、椿淳子、岡嶋覚、中山承代、澤田博行、高橋幸利、精神神経症状に抑肝散が有効であった辺縁系脳炎の1例、第113回日本小児科学会学術集会、2010年4月23-25日、盛岡.
9. 高橋幸利、美根潤、最上友紀子、池上真理子、高山留美子、向田壮一、池田浩子、久保田裕子、今井克美.インフルエンザ脳症後てんかんの免疫病態の検討：髄液サイトカインについて、第113回日本小児科学会学術集会、2010年4月23日-25日、盛岡.
10. 向田壮一、高橋幸利、池田浩子、重松秀雄、大谷英之、カルバマゼピンにより Stevens-Johnson 症候群を発症した HLA-B\*1502 をもつ在日中国人の1例、第113回日本

- 小児科学会学術集会、2010年4月23日-25日、盛岡.
11. 道下崇史、重光幸恵、桃木恵美子、西口康介、玉木久光、大森多恵、三澤正弘、伊藤昌弘、大塚正弘、高橋幸利、卵巣奇形腫による傍腫瘍性辺縁系脳炎の1女児例、第113回日本小児科学会学術集会、2010年4月23日-25日、盛岡.
  12. 小出泰道、高橋幸利、宍戸丈郎、池田 仁、臼井桂子、山崎悦子、寺田清人、小尾智一、溝口功一、井上有史、森川建基、ガバペンチン(GBP)、トピラマート (TPM) の有効性と安全性についての調査研究、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  13. 亀井聡、森田昭彦、平良直人、石原正樹、南 正之、水谷智彦、高橋幸利、単純ヘルペス脳炎における抗グルタメート受容体 (GluR) 抗体の検出と転帰との関連、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  14. 長坂江理、田代裕一、水野裕司、山崎恒夫、成田耕介、鈴木雄介、高橋幸利、岡本幸市、脳血流変化を検討した自己免疫関連脳炎の7症例、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  15. 岡崎敏郎、荒川竜樹、木村成志、高橋幸利、熊本俊秀、急性脳炎・脳症に伴う画像変化の臨床病理学的検討、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  16. 大石知瑞子、長田純理、内堀 歩、宮崎 泰、川嶋聡子、岡田陽子、高橋幸利、千葉厚郎、髄液グルタミン酸受容体抗体陽性脳炎の4症例、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  17. 田代裕一、峰岸 敬、高橋幸利、岡本幸市、抗グルタミン酸受容体抗体関連脳炎症例における卵巣奇形腫の免疫組織学的検討、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  18. 山崎悦子、高橋幸利、寺田清人、溝口功一、井上有史、脳症後てんかんの治療—急性期と慢性期—、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  19. 樋口雄二郎、西平 靖、遠藤一博、諏訪園秀吾、楠 進、高橋幸利、末原雅人、Bickerstaff型脳幹脳炎4例における抗グルタミン酸受容体抗体の検討、第51回日本神経学会総会、2010年5月20-22日、東京.
  20. 坂内優子、小国弘量、大澤真木子、廣瀬伸一、兼子直、高山留美子、高橋幸利、藤原建樹、山川和弘、Dravet症候群死亡例の全国調査、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  21. 池上真理子、高橋 幸利、向田壮一、高山留美子、池田浩子、今井克美、大谷英之、久保田裕子、重松秀夫、井上有史、West症候群におけるACTH療法反復施行の検討、第2報：発病年齢時期、治療開始時期、ACTH投与年齢時期と有効性、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  22. 高山留美子、高橋幸利、最上友紀子、池上真理子、向田壮一、池田浩子、今井克美、重松秀夫、井上有史、鈴木保宏、眼周囲の知覚刺激によると思われる自己誘発発作の見られた2症例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  23. 高橋幸利、Meilia M. Suriadi、久保田裕子、美根潤、山崎悦子、高山留美子、池上真理子、向田壮一、最上友紀子、井上有史、脳炎後難治性てんかんの血液脳関門透過性亢進と免疫病態の解明、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  24. 根岸豊、濱口貴代、小林悟、安藤直樹、伊藤哲哉、戸苺創、高橋幸利、抗NMDA受容体抗体陽性急性辺縁系脳炎の13歳女児例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  25. 泉 鉉吉、高橋幸利、緑膿菌感染症に罹患後、てんかん発作が消失したAERRPS (Acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizures) の1例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  26. 高野志保、高橋 幸利、森 寿、NMDA型グルタミン酸受容体サブユニットに対する新たな自己抗体スクリーニング系の確立と患者血清を用いた検討、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  27. 向田壮一、今井克美、下島圭子、山本俊至、池上真理子、池田浩子、高山留美子、最上友紀子、高橋幸利、點頭てんかんを発症したWilliams症候群の2症例、第52回日本小

- 児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
28. 小野浩明、高橋幸利、インフルエンザ感染を契機に非ヘルペス性辺縁系脳炎を発症した1例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  29. 小泉ひろみ、高橋幸利、地震後急性発症し、精神病性障害と考えられた抗NMDA受容体抗体陽性脳症の12歳女児例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  30. 岩井明日香、三浦良介、寺澤厚志、松波邦洋、伊藤玲子、高橋幸利、木全かおり、折居恒治、今村淳、MRSpectroscopy(MRS)で解析した症候性West症候群の2症例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  31. 樋口司、西村貴史、石田岳史、福山哲弘、稲葉雄二、高橋幸利、言語機能が徐々に回復した亜急性脳症の1例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  32. 島袋陽子、大府正治、崎原徹裕、高橋幸利、卵巣奇形腫を伴った抗グルタミン酸受容体(GluR)抗体陽性辺縁系脳炎の1例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  33. 崎原徹裕、大府正治、島袋陽子、高橋幸利、ステロイドパルス療法が有効であった抗グルタミン酸受容体(GluR)抗体陽性脳炎の1例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  34. 中村康子、松本浩、高橋幸利、難治性痙攣、意識障害を呈し、非ヘルペス性辺縁系脳炎と診断した1例、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡.
  35. 福田美穂、高橋幸利、山本寿子、橋本修二、宮本雄策、新井奈津子、神山紀子、村上浩史、山本仁、強い精神症状を認めた非ヘルペス性辺縁系脳炎の1例、第46回神奈川小児神経懇話会.
  36. 白井晴己、有馬ふじ代、後藤美和、山本恭平、平塚恵、岡田隆文、松原啓太、輿石薫、込山修、高橋幸利、インフルエンザ罹患後に辺縁系脳症が疑われた1例、日本小児科学会東京都地方会、2010年6月12日、東京.
  37. 最上友紀子、高橋幸利、那須裕郷、須佐史信、木村暢佑、木村記子、白井大介、伊藤智城、福山哲広、高山留美子、池田浩子、今井克美、重松秀夫、先天性中枢性肺胞低換気症候群にてんかんを合併した女児例、第53回静岡小児神経研究会、2010年6月19日、浜松.6/17?
  38. 松山裕文、下竹昭寛、松本理器、池田昭夫、高橋良輔、松橋眞生、福山秀直、田中恵子、高橋幸利、抗NMDA受容体抗体陽性で病変以外に多焦点を獲得した難治部分てんかんの1症例、日本神経学会近畿地方会、2010年7月4日.
  39. 大谷早苗、今井克美、高橋宏佳\*、高山留美子、最上友紀子、大谷英之、池田浩子、重松秀夫、美根潤、高橋幸利、下島圭子、山本俊至、井上有史、CDKL5遺伝子異常を有する乳児早期発症てんかんの検討、第3回日本てんかん学会東海・北陸地方会、2010年7月10日、名古屋.
  40. 市山高志、庄司鉦史、高橋幸利、パネルディスカッション、「ヘルペス脳炎と非ヘルペス脳炎の最近のトピックス」非ヘルペス性辺縁系脳炎の髄液サイトカイン解析 単純ヘルペス脳炎との比較検討、第17回ヘルペス感染症フォーラム、2010年8月20-21日、札幌.
  41. 杉山永見子、鹿庭なほ子、頭金正博、黒瀬光一、長谷川隆一、松永佳世子、高橋幸利、古谷博和、村松正明、外園千恵、木下茂、相原道子、池澤善郎、斎藤嘉朗、(1 国立衛研, 2SJS/TEN 遺伝子多型研究班)、日本人におけるスティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症と相関するHLAタイプの探索(第三報)、免疫毒性学会、2010年9月、筑波.
  42. 後藤昌英、穂坂翔、佐藤未織、加藤啓輔、塩野淳子、泉維昌、小池和俊、土田昌宏、高橋幸利、難治頻回部分発作重積型急性脳炎(AERRPS)に血球貪食性リンパ組織球症(HLH)を合併した1例、関東小児神経研究会、2010年9月12日.
  43. 曾我一将、尾崎心、入岡隆、高橋幸利、水澤英洋、卵巣奇形腫を合併した抗GluR抗体陽性脳幹脳炎の36歳女性例、第194回日本神経学会関東地方会、2010年9月
  44. 古澤嘉彦、小川雅文、村田美穂、高橋幸利、急性小脳炎発症後、4年の経過で

- 小脳性運動失調が緩徐に進行した GluR 抗体陽性の 40 歳男性例、第 194 回日本神経学会 関東・甲信越地方会、2010 年 9 月 4 日、東京。
45. 高木謙太郎、水谷真之、向井信弘、松村謙、大久保卓哉、渡邊睦房、高橋幸利\*、鎌田智幸、Ramsay hunt 症候群に辺縁系脳炎を合併した 87 歳女性の 1 例、第 194 回日本神経学会 関東・甲信越地方会、2010 年 9 月 4 日、東京。
  46. 南木康作、荻野悠、川島弘彦、村山真治、宮内安澄、岩田祐輔、小松素明、小出隆司、有馬宏和、中川博之、高橋幸利、田中恵子、血清抗 GluR $\delta$ 2 抗体、髄液抗 NMDAR 抗体陽性であった非ヘルペス性辺縁系脳炎の一例、第 575 回日本内科学会 関東地方会、2010 年 10 月 2 日
  47. 岸谷 融、村松倫子、横山広美、三浦豊章、小林康孝、米田誠、高橋幸利、ステロイドが著効した非ヘルペス性辺縁系脳炎の 1 例、第 128 回日本神経学会 東海北陸地方会、2010 年 10 月？。
  48. 立花直子、石井恵子、高橋幸利、田中恵子、有馬邦正、池田修一、若年女性の卵巣における NMDAR 関連抗原の発現に関する免疫組織化学検討、第 15 回日本神経感染症学会、2010 年 10 月 8-9 日、福島。
  49. 池田浩子、高橋幸利、今井克美、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、木村紀子、近藤聡彦、須佐史信、高山留美子、那須裕郷、福山哲広、最上友紀子、井上有史、Turner 症候群に合併するてんかん、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  50. 最上友紀子、高橋幸利、那須裕郷、須佐史信、臼井大介、木村暢佑、木村記子、伊藤智城、福山哲広、高山留美子、池田浩子、今井克美、重松秀夫、井上有史、脳炎・脳症後てんかんと抗てんかん薬の副作用、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  51. 最上友紀子、高橋幸利、高山留美子、村上智彦、福山智広、池田浩子、今井克美、重松秀夫、脳炎後てんかんと抗てんかん薬の副作用（第 1 報）、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  52. 大谷早苗、今井克美、高橋宏佳、高山留美子、最上友紀子、大谷英之、池田浩子、重松秀夫、美根潤、高橋幸利、下島圭子、山本俊至、井上有史、CDKL5 遺伝子異常を有する乳児早期発症てんかんの検討、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  53. 池上真理子、高橋幸利、向田壮一、高山留美子、最上友紀子、池田浩子、今井克美、大谷英之、久保田裕子、重松秀夫、井上有史、難治再発 West 症候群における ACTH 療法反復施行の検討、第 3 報：投与時脳波所見と有効性、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  54. 操 徳智、大谷英之、萩原郁夫、大谷早苗、高橋幸利、山川和弘、井上有史、乳児重症ミオクロニーてんかんのマウスモデルにおけるステイリペンツールの効果、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  55. 中島絵梨花、田中 学、松浦隆樹、菅谷ことこ、菊池健二郎、南谷幹之、高橋幸利、浜野晋一郎、水痘脳炎後に難治性てんかんを示した 1 例、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  56. 宮田理英、田沼直之、林 雅晴、高橋幸利、水痘罹患を契機に発症した自己免疫性の脳症が疑われた West 症候群後難治てんかんの 8 歳男児例、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  57. 赤坂真奈美、亀井 淳、曾我菜海、高橋幸利、千田勝一、抗グルタミン酸受容体抗体（抗 GluR $\epsilon$ 2 抗体）陽性の自己免疫介在性脳炎に残存するてんかん治療について、第 16 回小児神経学会 東北地方会、2010 年 10 月 30 日、仙台。
  58. 細田直子、坪内めぐみ、横山勝利、太田典子、松村博史、長田泉美、岡田晋一、渡辺保裕、前垣義弘、高橋幸利、中込和幸、慢性腎炎を合併し、ステロイドパルス療法により症状の改善を認めた自己免疫性脳炎の一症例、中国地区 GHP 研究会、第 4 回 2010 年 10 月 3 日、広島。
  59. 細田直子、坪内めぐみ、横山勝利、太田典子、松村博史、長田泉美、岡田晋一、渡辺保

- 裕、前垣義弘、高橋幸利、中込和幸、慢性腎炎を合併し、ステロイドパルス療法により症状の改善を認めた自己免疫性脳炎の一症例、第31回日本精神科診断学会、2010年11月18-19日、長野。
60. 細田直子、坪内めぐみ、横山勝利、太田典子、松村博史、長田泉美、岡田晋一、渡辺保裕、前垣義弘、高橋幸利、中込和幸、慢性腎炎を合併し、ステロイドパルス療法により症状の改善を認めた自己免疫性脳炎の一症例、第51回中国・四国精神神経学会・第34回中国・四国精神保健学会、2010年11月18-19日、米子。
  61. 小俣 卓、高梨潤一、高橋幸利、新井ひでえ、田邊雄三、本島敏乃、脳炎後に重度の後遺症を残し2年以上経過した後、著名な回復をみせている女兒例、千葉県小児神経懇話会、2010年11月。
  62. 久保田裕子、森川建基、高橋幸利、発作間欠時脳波の変化に伴い、発作型が変化したWest症候群の1例、第61回名古屋臨床脳波検討会、2010年11月6日、名古屋。
  63. 有馬宏和、村山真治、宮内安澄、西村 修、藤本喜展、笠井健児、中川博之、持丸文雄、南木康作、小出隆司、高橋幸利、田中恵子、血清抗 GluR $\alpha$ 2 抗体、髄液抗 NMDAR 抗体陽性であった非ヘルペス性辺縁脳炎の一例、第392回日本産科婦人科学会神奈川地方部会、2010年11月14日、平塚。
  64. 飯田ちひろ、平野恵子、奥村良法、渡邊誠司、愛波秀男、高橋幸利、精神症状で発症し診断に苦慮した非ヘルペス性辺縁系脳炎の一例、第54回静岡小児神経研究会、2010年11月20日、静岡。
  65. 須佐史信、高橋幸利、藤原由美、村上智彦、最上友紀子、高山留美子、大谷早苗、池田浩子、久保田裕子、重松秀夫、小児期発病モヤモヤ病におけるてんかんの臨床的検討、第54回静岡小児神経研究会、2010年11月20日、静岡。
  66. 山本吉章、幾見泰洋、三島信行、西村成子、高橋幸利、小児てんかん患者を対象としたクロバザムの固体内変動に関する検討、第64回国立病院総合医学会学術集会、2010年11月26-27日、福岡。
  67. 橋口俊太、室橋洋子、遠藤雅直、上木英人、高橋竜哉、黒岩義之、高橋幸利、高齢男性にみられ悪性腫瘍の合併がない辺縁系脳炎の67歳男性例、第195回日本神経学会関東・甲信越地方会、2010年11月27日、
  68. 金塚陽一、山本正博、梁成勲、今関良子、高橋幸利、非痙攣性てんかん重積状態を呈した抗 GluR $\alpha$ 2 抗体陽性の78歳女性例、第195回日本神経学会関東・甲信越地方会、2010年11月27日、
  69. 甲斐 太、荒田 仁、林 茂昭、長堂竜維、高橋幸利、丸山芳一、抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった可逆性脳梁膨大部病変を伴った脳炎の2例、第192回日本神経学会九州地方会、2010年11月27日、
  70. 鹿庭なほ子、頭金正博、黒瀬光一、長谷川隆一、高橋幸利、古谷博和、松永佳世子、村松正明、木下茂、相原道子、池澤善郎、斎藤嘉朗、カルバマゼピン関連ステーブンス・ジョンソン症候群/中毒性表皮壊死症の日本人における遺伝的危険因子、第31回日本臨床薬理学会、2010年12月1-3日、京都。
  71. 大川真理、森田ゆかり、大崎康史、清水祐司、村田和子、高橋幸利、土居義典、進行性脳萎縮、失語、片麻痺の経過中に筋萎縮を認め、ラスムッセン脳炎慢性期と考えられた1例、第89回日本神経学会中国・四国地方会、平成22年12月4日、島根県出雲。
  72. 白久義久、白井謙太郎、金子節子、菅原祐之、荒木聡、林雅晴、高橋幸利、激しい不随意運動と情動興奮を来し、髄液中の抗 GluR $\alpha$ 2,  $\delta$ 2 抗体が陽性であった非ヘルペス性急性辺縁系脳炎様経過を示した12歳女兒例、蔵王セミナー、2011年2月11-12日、山形。
  73. 青山幸平、宮地悠江、佐藤有沙、徳永博秀、後藤志歩、森田誠、渡邊一功、長谷川真司、高橋幸利、5年後に再発を認めた抗 NMDA 受容体脳炎の11歳男児例、日本小児科学会東海地方会、2011年2月、
  74. 高橋幸利、西村成子、角替央野、美根潤、久保田裕子、今井克美、松田一己、今村淳、藤原建樹、井上有史、Rasmussen 症候群とその類縁疾患の自己反応性細胞障害性 T 細胞・Th1 細胞の持続性活性化の病態解明から治療開発に向けた研究、てんかん治療研究振興

- 財団第 22 回研究報告会、2011 年 3 月 4 日、千里。
75. 金澤恭子、松本 理器、高橋 幸利、池田 昭夫、高橋 良輔、抗 VGKC 抗体関連辺縁系脳炎が示唆された患者群の臨床像の検討、第 52 回京滋てんかん懇話会、2011 年 3 月 12 日、京都。
  76. 油川陽子、高橋幸利、高齢男性に発症した抗 GluR $\epsilon$ 2 抗体陽性の非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の一例、第 88 回日本神経学会北海道地方会、2011 年 3 月 6 日。
  77. 福田明子、高木 努、木下郁夫、上田康雄、高橋幸利、免疫療法介入前に速やかに改善した抗グルタミン酸受容体抗体陽性脳炎の 1 例、第 193 回日本神経学会九州地方会。
  78. 三木康生、高橋幸利、抗 Hu 抗体、抗 GluR $\epsilon$ 2 抗体がともに陽性であった辺縁系脳炎の 1 例、第 88 回日本神経学会東北地方会、2011 年 2 月、
  79. Yuko Ikezawa, Michiko Aihara, Setsuko Matukura, Takeshi Kanbara, Yukitoshi Takahashi, Hiroko Ikeda, Zenro Ikezawa, The efficacy of plasmapheresis in treatment of SCARs such as SJS/TEN and the probable action mechanism. the First Eastern Asia Dermatology Congress (EADC2010), September 30-October.3,Fukuoka, Japan.
  80. Imai-K, Takenami-C, Takayama-R, Mogami-Y, Ikeda-H, Takahashi-Y, Inoue-Y, Anti-epileptic drug level changes by the ketogenic diet. INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON THE DIETARY TREATMENTS FOR EPILEPSY AND OTHER NEUROLOGICAL DISORDERS, October 5-8, 2010, Edinburgh, Scotland, UK.
  81. Ihara Y, Tomonou Y, Fujita T, Ideguchi H, Inoue T, Yasumoto S, Takahashi Y, Hirose S, Steroid Pulse Therapy for a case of Frontal Lobe Epilepsy with antibodies to glutamate receptor (GluR), 8th Asian & Oceanian Epilepsy Congress, October 21-24, 2010, Melbourne, Australia.
  82. Miho Fukuda, Hitoshi Yamamoto, Yukitoshi Takahashi, A case of Non-herpetic Acute Limbic Encephalitis with severe psychiatric symptoms. American Epilepsy Society's Annual Meeting **2010**, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA.
  83. Rumiko Takayama, Yukitoshi Takahashi, Self-induced seizures probably by peri-orbital somatosensory stimulation: a report of two cases, American Epilepsy Society's Annual Meeting **2010**, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA.
  84. Yumi Horigome, Hideyuki Ohtani, Yushi Inoue, Satoshi Sakai, Ikuo Ogiwara, Kazuhiro Yamakawa and Yukitoshi Takahashi, Ictal death in Dravet syndrome model mice. American Epilepsy Society's Annual Meeting **2010**, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA.
  85. Hiroko Ikeda, Katsumi Imai, Hitoshi Ikeda, Takahashi Yukitoshi, Yushi Inoue, Lamotrigine is favorable for startle-induced seizures, American Epilepsy Society's Annual Meeting **2010**, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA.
  86. Katsumi Imai , Sanae Otani, Hiroko Ikeda , Rumiko Takayama, Hiroka Takahashi, Juhn Mine, Yukiko Mogami, Hideo Shigematsu, Yukitoshi Takahashi, K Shimojima, T Yamamoto, Yushi Inoue, Peculiar seizures in the infantile epilepsy with CDKL-5 (cyclin-dependent kinase-like 5) mutation/deletion. American Epilepsy Society's Annual Meeting **2010**, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA.
  87. 池田 仁、日吉俊雄、池田浩子、井上有史、Down 症候群に合併したてんかんについての検討、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
  88. Hitoshi Ikeda, Toshio Hiyoshi, Hiroko Ikeda, Yushi Inoue, Reappraisal of Epilepsy in patients with Down syndrome, American Epilepsy Society's Annual Meeting **2010**, December 3-7,2010, San Antonio,Texas,USA
  89. Hiroko Ikeda, Katsumi Imai, Hitoshi Ikeda, Kazumi Matsuda, Fumihiko Nakamura, Yukitoshi Takahashi, Yushi Inoue, Ictal SPECT in Myoclonic Absence Seizures, 9th European Congress on Epileptology. Rhodes, Greece. June 27th - July 1. 2010
  90. 小尾智一、八木宣泰、宍戸丈郎、杉浦明、山崎公也、溝口功一、アルツハイマー病 (AD) における経時的脳萎縮の検討。第 51 回日本神経学会総会、2010 年 5 月 20 日、東京。
  91. 山本俊至、下島圭子、伊藤昌弘、今井克美、ダウン症候群責任領域のハプロ不全による臨床症状、第 52 回日本小児神経学会総会、2010 年 5 月 20-22 日、福岡。
  92. 杉山一郎、今井克美、秋山倫之、越智文子、宮川 正、三山佐保子、富田直、後藤知英、小出彩香、雨宮馨、大坪宏、結節性硬化症に合併する小児難治性てんかんの術前焦点局

- 在化における SAM(g2)の有用性、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山。
93. 杉山一郎、宮川 正、今井克美、秋山倫之、越智文子、大坪 宏、SAM(2)を用いた小児難治性皮質てんかんの術前焦点局在化、第 38 回日本小児神経外科学会、2010 年 6 月 4-5 日、富山。
  94. Ichiro Sugiyama, K. Imai, A. Ochi, T. Akiyama, C. Go, E. Widjaja, D. Cheyne, S. Chuang, O. Snead III, Synthetic aperture magnetometry-kurtosis (SAM(g2)) for single/multiple epileptic foci in children with neocortical epilepsy... , American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA.
  95. 臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、梅岡秀一、近藤聡彦、寺田清人、中村文裕、臼井桂子、三原忠紘、井上有史、術後の発作時脳波で二次てんかん原性が示唆された 2 症例、日本てんかん学会東海北陸地方会、2010 年、名古屋。
  96. Naotaka Usui, Kiyohito Terada, Koichi Baba, Kazumi Matsuda, Fumihiko Nakamura, Keiko Usui, Takayasu Tottori, Shuichi Umeoka, Shigeru Fujitani, Akihiko Kondo, Tadahiro Mihara, Yushi Inoue. Very high frequency oscillations (over 1000 Hz) in human epilepsy. The 4<sup>th</sup> Asian Epilepsy Surgery Congress. September 3-5, 2010, 台北、台湾
  97. 臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、梅岡秀一、近藤聡彦、寺田清人、中村文裕、臼井桂子、三原忠紘、井上有史、術後の発作時脳波で二次てんかん原性が示唆された 2 症例、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山
  98. Naotaka Usui, Kiyohito Terada, Koichi Baba, Kazumi Matsuda, Fumihiko Nakamura, Keiko Usui, Takayasu Tottori, Shuichi Umeoka, Shigeru Fujitani, Akihiko Kondo, Tadahiro Mihara, Yushi Inoue. Very high frequency oscillations (over 1000 Hz) in human epilepsy. 29<sup>th</sup> International Congress of Clinical Neurophysiology. October 28-November 1, 2010, Kobe, Japan
  99. Naotaka Usui, Kiyohito Terada, Koichi Baba, Kazumi Matsuda, Fumihiko Nakamura, Keiko Usui, Takayasu Tottori, Shuichi Umeoka, Shigeru Fujitani, Akihiko Kondo, Tadahiro Mihara, Yushi Inoue. Clinical significance of very high frequency oscillations (over 1000 Hz) in epilepsy. American Epilepsy Society's Annual Meeting 2010, December 3-7, 2010, San Antonio, Texas, USA
  100. 臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、梅岡秀一、近藤聡彦、寺田清人、臼井桂子、三原忠紘、井上有史、MRI 異常を認めない新皮質てんかんの治療成績、第 34 回日本てんかん外科学会、2011 年 1 月 20-21 日、広島
  101. 臼井直敬、側頭葉のてんかん原性が示唆された前頭葉海綿状血管腫の一例、第一回京大・名大合同駿河遠江東三河脳神経外科カンファレンス、2011 年 3 月 12 日、豊橋
  102. 臼井桂子、寺田清人、臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、梅岡秀一、藤谷繁、井上有史、てんかん外科治療における言語機能温存のための側頭葉底部言語野の機能解明。第 51 回日本神経学会総会、2010 年 5 月、東京
  103. 服部旬里、坂内優子、大谷英之、熊田知浩、藤原建樹、小国弘量、大守伊織、SMEI の発症を予見するスクリーニングテストの多施設における有用性、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山
  104. 大谷英之、荻原郁夫、高橋幸利、山川和弘、井上有史、SMEI モデルマウスの Hyperthermia-induced seizure に対する LVT、STP、CLB の抑制効果の検討、2010 年 5 月 20-22 日 (演者病欠)
  105. 小出泰道、宍戸丈郎、山崎悦子、池田仁、芳村勝城、中村文裕、日吉俊雄、井上有史、心因性非てんかん発作(psychogenic nonepileptic seizure)の症候と臨床的特徴、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14 日、岡山。
  106. 小出泰道、宍戸丈郎、山崎悦子、須佐史信、池田浩子、井上有史、もやもや病症例におけるけいれん発作の臨床的特徴 7 例の検討、日本脳卒中学会総会、2011 年 3 月 26 日、東京。
  107. 重松秀夫、Epileptic spasms の分類上の位置づけ、第 16 回漆山てんかん懇話会セミナー、2010 年 6 月 12 日、静岡
  108. 杉浦 明、小尾智一、宍戸丈郎、山崎公也、溝口功一、村山繁雄、全脳病変をきたした



プリオン遺伝子 E200K 変異を伴うクロイツフェルトヤコブ病の一剖検例、第 51 回日本神経病理学会学術研究会 2010 年 4 月 23 日、東京。

109. 杉浦 明、山崎公也、宍戸丈郎、寺田清人、小尾智一、溝口功一、寺田達弘、他系統萎縮症における前頭葉機能障害の評価、第 51 回日本神経学会総会 2010 年 5 月 20 日、東京。
110. 高山留美子、今井克美、特に困難と思われた破滅的てんかんの外科治療について、先天性中大脳動脈梗塞症例 step1、漆山セミナー、2010 年 6 月 11 日、静岡市。
111. 寺田清人、発作時脳波の高周波・低周波成分、第 40 回日本臨床神経生理学会、2010 年 11 月 2 日、神戸。
112. 日吉俊雄、池田 仁、松田一己、井上有史、海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかんの手術適応—外来初診後の追跡調査。第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 15 日、岡山。
113. 福山哲広、那須裕郷、須佐史信、伊藤智城、臼井大介、木村暢佑、最上友紀子、高山留美子、大谷英之、池田浩子、今井克美、重松秀夫、高橋幸利、オクスカルバゼピンとレベチラセタム内服中にてんかん発作と行動異常が悪化した Atypical syndrome related to benign epilepsy with centro-temporal spikes の中国人女児例、第 14 回小児神経甲信越地方会、2010 年 11 月 6-7 日、上越。
114. 松田一己、中村文裕、馬場好一、鳥取孝安、臼井直敬、梅岡秀一、近藤聡彦、寺田清人、臼井桂子、三原忠紘、井上有史、皮質形成異常に起因する前頭葉てんかん手術例の中枢性ベンゾジアゼピン受容体濃度の減少域と増加域の関連について。第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 15 日、岡山。
115. 松田一己、中村文裕、内側側頭葉てんかん手術例における <sup>123</sup>I-iomazenil SPECT 所見の評価—画像統計解析で得られた集積異常パターンの類型化について、第 50 回日本核医学会学術総会 2010 年 11 月 12 日、大宮。
116. 松田一己、馬場好一、臼井直敬、梅岡秀一、近藤聡彦、鳥取孝安、三原忠紘、井上有史、内側側頭葉てんかんにおける術後成績とイオマゼニル SPECT 所見の相関—統計学的画像解析所見をもとに、第 34 回日本てんかん外科学会、2011 年 1 月 20 日、広島。
117. 山崎公也、杉浦 明、宍戸丈郎、寺田清人、小尾智一、溝口功一、寺田達弘、「MSA(多系統萎縮症)における心拍変動スペクトル解析(ULF,VLF,1/f ゆらぎ)」、第 51 回日本神経学会総会、2010 年 5 月 20-22 日、東京。
118. 八木宣泰、芹澤正博、小張昌宏、笠原正男、寺田達弘、小尾智一、溝口功一、広範な大脳白質病変で発症した Intravascular lymphoma(IVL)の 1 剖検例、第 129 回日本神経学会東海北陸地方会、2011 年 3 月 12 日、名古屋。
119. 寺田達弘、小尾智一、吉住美保、村井俊哉、宍戸丈郎、杉浦明、山崎公也、鈴木万幾子、白川健太郎、鈴木均、河野智、宮嶋裕明、溝口功一、前頭葉由来の行動障害を認めたパーキンソン病における脳萎縮の評価、第 51 回日本神経学会総会、2010 年 5 月 20-22 日、東京。
120. 近藤聡彦、上利崇、安原隆雄、蔵本智士、松井利浩、三好康之、新郷哲郎、伊達勲、ニューロペプチド Y を介したエリスロポエチンの抗てんかん作用、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 15 日、岡山。
121. 近藤聡彦、松田一己、馬場好一、鳥取孝安、梅岡秀一、中村文裕、臼井直敬、寺田清人、臼井桂子、三原忠紘、上利崇、伊達勲、井上有史、GABA-A receptor density abnormalities associated with seizure outcomes in epileptogenic cavernous angioma」、the 8th Asian and Oceanian Epilepsy Congress、2010 年 10 月 22-23 日、メルボルン、オーストラリア。
122. 近藤聡彦、松田一己、馬場好一、鳥取孝安、梅岡秀一、臼井直敬、寺田清人、臼井桂子、三原忠紘、井上有史、内側側頭葉てんかんに疑い頭蓋内脳波を行った一例、第 34 回日本てんかん外科学会、2011 年 1 月 20 日、広島。
123. 近藤聡彦、松田一己、馬場好一、鳥取孝安、梅岡秀一、臼井直敬、寺田清人、臼井桂子、三原忠紘、井上有史、破局てんかんの患者数および治療実態調査、第 34 回日本てんかん外科学会、2011 年 1 月 20-21 日、広島。
124. 近藤聡彦、臼井直敬、馬場好一、松田一己、鳥取孝安、寺田清人、臼井桂子、井上有史、

- 三原忠紘、前頭葉てんかんを疑い頭蓋内脳波を行った1例、第12回国立てんかん外科ネットワーク懇話会、2011年2月26日、奈良。
125. 木村記子、岡田 俊、児童期早期に発症した神経性食欲不振症の2症例、第51回日本児童青年精神医学会総会、2010年10月28-30日、群馬。
  126. Yumi Horigome, Hideyuki Ohtani, Yushi Inoue, Satoshi Sakai, Ikuo Ogiwara, Kazuhiro Yamakawa, Yukitoshi Takahashi: Ictal death in Dravet syndrome mouse model. 64<sup>th</sup> AES (Annual meeting of American Epilepsy Society), December 3-7. 2010. San Antonio
  127. 藤原建樹、新規抗てんかん薬を用いたてんかんの薬物治療、第6回脳波てんかん・千鳥ヶ丘研究会、2010年5月17日、東京。
  128. 藤原建樹、小児のてんかん薬物治療—新旧抗てんかん薬をどう使うか、これからのてんかん薬物治療を考える、デパケン35周年・トピナ3周年記念講演会、2010年6月5日、東京
  129. 藤原建樹、難治てんかんに対する新規抗てんかん薬、第67回東海てんかん集談会 2011年2月5日、名古屋
  130. 鈴木絵莉、山本吉章、井上和幸、三島信行、伊藤邦彦、Valproic acid服用中てんかん患者におけるアンモニア値上昇に關与する危険因子の検討、第131回日本薬学会年会、2011年3月28-31日、静岡
  131. 山本吉章、西村成子、幾見泰洋、三島信行、高橋幸利、CYP2C9 および CYP2C19 の SNP 迅速測定法の開発と小児てんかん患者への臨床応用、第20回日本医療薬学会年会、2010年11月13-14日、幕張。
  132. 宮川 紘、山本吉章、西村成子、三島信行、高橋幸利、クロバザム及び活性代謝物の体内動態に關する検討、日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2010、2010年11月28日、静岡。
  133. 家田直幸、山本吉章、後藤一純、三島信行、新薬登場による抗てんかん薬の処方動向の変化について、第64回国立病院総合医学会、熊本←第64回国立病院総合医学会、2010年11月26-27日、福岡。
  134. 家田直幸、山本吉章、後藤一純、三島信行、トピラマートの小児に対する服薬継続率と認容性に關する検討、平成22年度東海北陸国立病院薬剤師会総会、2010年6月19-20日、金沢。
  135. 杉山 修、井上有史、岡田 俊、土一元三、てんかんを合併する高機能広汎性発達障害の児童の認知特性について、第51回日本児童青年精神医学会総会、2010年10月28日、前橋。
  136. 藤本龍也、木下 均、小尾智一、宍戸丈郎、杉浦 明、山崎公也、溝口功一、CIDP における神経伝道速度検査の時系列変化について、第40回日本臨床生理学会、2010年11月1-2日
  137. 山口みや子、寺田清人、馬場好一、中村文裕、松田一己、鳥取孝安、臼井直敬、梅岡秀一、臼井桂子、近藤聡彦、三原忠紘、井上有史、側頭葉てんかん患者における発作時頭蓋内脳波の非常にはやい高周波成分、第40回日本臨床生理学会、2010年11月1-2日
  138. 久留泰史、坂部肇胤、三重きの江、石原礼子、木下 均、中村文裕、側頭葉てんかん患者の術後におけるてんかん性律動波の変化について、第40回日本臨床生理学会、2010年11月1-2日、
  139. 臼井友梨、松屋奈美子、佐野織江、土幸伸子、澤村智子、村松正子、CJD患者の家族の思いを知る、第18回東海北陸神経難病ネットワーク研究会、2010年6月18日、石川。
  140. 松屋奈美子、佐野織江、臼井友梨、土幸伸子、澤村智子、村松正子、CJD患者の家族の思いを知る、第64回国立病院総合医学会、2010年11月26-27日、福岡。
  141. 平原八重子、金刺絹子、伊藤憲彦、西村由美、小脳失調症状があるてんかん患者の深部脳波検査中の関わり、第64回国立病院総合医学会 2010年11月26-27日、福岡。
  142. 明石真帆、中田美紀、豊泉三枝子、芹田里美、入院期間中に育児態度に変化の見られた母への援助を振り返る、第64回国立病院総合医学会、2010年11月26-27日、福岡。

143. 秦とし枝、望月香穂里、揚張万希子、日吉由紀子、西家あや子、渡邊真介、付き添い家族の生活環境に対する意識、第 64 回国立病院総合医学会、2010 年 11 月 26-27 日、福岡.
144. 大村聡美、杉山かお美、天野恵美、小川はるみ、嘉数由美子、舛田俊一 てんかん病棟における患者の病棟活動と運動の認識 第 64 回国立病院総合医学会、2010 年 11 月 26-27 日、福岡.
145. 岩倉京子、山本実奈、青木裕子、玉木恭子、畑山美智子 重症心身障害児（者）病棟に勤務する看護師のボディメカニクスに対する意識と行動の変化、第 64 回国立病院総合医学会、2010 年 11 月 26-27 日、福岡
146. 松山みどり、重症心身障害看護の統一に向けて 第 64 回国立病院総合医学会、2010 年 11 月 26-27 日、福岡.
147. 武井麻由美、重症心身障害児〔者〕における非経口摂取患者の口腔環境の改善、第 36 回日本重症心身障害学会、204 年 9 月 30、2010 年 9 月 30 日？東京
148. 石川起代、長谷川純子、伊山裕香、釧持幸枝、藤井千穂子、重症心身障害児〔者〕における安楽なおむつの当て方の検討、第 36 回日本重症心身障害学会、204 年 9 月 30、2010 年 9 月 30 日？東京
149. 原ひとみ、山竹寿享、豊泉三枝子、古牧理恵子、看護倫理の工場への取り組み、平成 22 年度静岡県看護協会看護活動報告会 2011 年 2 月 19 日、静岡.
150. 鈴木雅博、下山直子、原田ゆかり、原 稔枝、山崎悦子、長時間脳波検査（L-E E G）時におけるストレスの評価—より良い支援に向けて術前からの心理検査結果の活用、第 1 2 回国立てんかん外科ネットワーク懇話会、2011 年 2 月 26 日、奈良.
151. 松山みどり、インドネシア看護師候補者受け入れに関する取り組み、グローバルにケア労働を考えるシンポジウム、2011 年 3 月 19 日、静岡.
152. 三浦敦史、スモン患者のバランス評価、平成 22 年研究報告、2011 年 2 月 2 日、東京.←スモン班会議？（溝口 Dr.）
153. 菅原洋平、物忘れを主訴とするてんかん患者の神経心理学的傾向について-神経心理学的検査結果と主訴内容の検討-、第 23 回静岡県作業療法士学会、2010 年 5 月 29 日、浜松

## 6. 研究助成成果発表

1. 近藤聡彦、井上有史、破局てんかんの追跡調査、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業、乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究、平成 22 年度班会議、2011 年 1 月 8 日、東京.
2. 三浦敦史、寺田達弘、宍戸丈郎、杉浦明、山崎公也、小尾智一、溝口功一、スモン患者のバランス機能評価、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業、スモンに関する調査研究、平成 22 年度班会議、2011 年 2 月 4 日、東京.
3. 野原正平、溝口功一他、患者会からみた糸山班の研究と活動...期待と要望...、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業、重症難病患者の地域医療体制構築に関する研究、平成 22 年度班会議、2011 年 1 月 11-12 日、東京.
4. 溝口功一、他、難病患者の災害時の受け入れに関する国立病院機構に対するアンケート調査結果、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業、重症難病患者の地域医療体制構築に関する研究、平成 22 年度班会議、2011 年 1 月 11-12 日、東京.
5. 今福恵子、溝口功一他、パーキンソン療養者の薬効低下による災害時の生活障害と支援に関する研究、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 重症難病患者の地域医療体制構築に関する研究、平成 22 年度班会議、2011 年 1 月 11-12 日、東京.
6. 今福恵子、溝口功一他、「ALS ちゃっとる一む」の現状と課題、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業、特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究、平成 22 年度班会議、平成 23 年 1 月 11 日、東京.
7. 西田拓司、高橋幸利、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎でみられた精神症状、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京.

8. 湯浅龍彦、藤田浩司、峰岸 敬、高橋幸利、プリオン病における抗グルタミン酸受容体抗体：精神症状の発現に関する意義、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
9. 岡本幸市、田代裕一、高橋幸利、当科で経験した抗グルタミン酸受容体抗体陽性脳炎症例の経過と転帰について、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
10. 庄司紘史、為数哲司、金子めぐみ、村岡範裕、小池文彦、田畑絵美、高橋幸利、非ヘルペス性辺縁系脳炎・周辺疾患の後遺症の研究、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
11. 吉川哲史、高橋幸利、非ヘルペス性辺縁系脳炎と診断された患者髄液における HSV 以外のヒトヘルペスウイルス検出状況と当施設で経験した造血幹細胞移植後 HHV-6 脳炎の 2 症例、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
12. 市山高志、高橋幸利、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎/脳症における血液脳関門機能と神経細胞障害の関連について、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
13. 田畑絵美、江里口誠、岩崎めぐみ、岡孝之、南里悠介、薬師寺祐介、光武里織、岡田竜一郎、横山政俊、増田正憲、徳永蔵、雪竹基弘、原英夫、高橋幸利、田中恵子、卵巣奇形腫関連傍腫瘍性脳炎の免疫組織学的検討、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
14. 高橋幸利、西村成子、高尾恵美子、笠井理沙、山崎悦子、最上友紀子、福山哲広、井上有史、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎における抗グルタミン酸受容体抗体の動態の検討、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
15. 高橋幸利、西村成子、高尾恵美子、笠井理沙、山崎悦子、最上友紀子、福山哲広、井上有史、抗 NMDA 型グルタミン酸受容体抗体の作用機序の検討、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究（H20-こころ-一般-021）平成 22 年度班会議、2010 年 11 月 19 日、東京。
16. 高橋幸利、角替央野、高尾恵美子、笠井理沙、西村成子、最上友紀子、美根潤、今井克美、井上有史、赤坂紀幸、三牧正和、Rasmussen 症候群における免疫調節遺伝子のゲノム解析：Cytotoxic T-lymphocyte-associated protein 4（CTLA4）、平成 22 年度精神・神経疾患研究開発費、22-3 てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究（主任研究者：渡辺雅子）研究報告会、2010 年 12 月 1 日、東京。
17. 高橋幸利、西村成子、角替央野、美根潤、久保田裕子、今井克美、松田一己、今村淳、藤原建樹、井上有史、Rasmussen 症候群とその類縁疾患の自己反応性細胞障害性 T 細胞・Th1 細胞の持続性活性化の病態解明から治療開発に向けた研究、てんかん治療研究振興財団第 22 回研究報告会、平成 23 年 3 月 4 日、大阪。
18. 高橋幸利、西村成子、高尾恵美子、笠井理沙、山崎悦子、最上友紀子、福山哲広、井上有史、培養ラット胎児神経細胞を用いたアポトーシス測定系の確立、厚生労働科学研究費補助金 創

- 薬基盤推進研究事業、「難治性てんかん患者由来iPS細胞を用いた新規創薬基盤の構築」平成 22 年度 班会議、2011 年 2 月 26 日、大阪。
19. 高橋幸利、急性脳炎・脳症後遺症治療と自己免疫病態、国立病院機構神経・筋疾患研究ネットワーク 合同班会議、2011 年 3 月 11 日、東京。
  20. 松田一己、側頭葉てんかんの手術後の薬物治療の現状と服薬の漸減中止または継続に関連する要因の検討、国立病院機構神経・筋疾患研究ネットワーク 合同班会議、2011 年 3 月 11 日、東京。
  21. 小尾智一、平成 22 年度 障害者対策総合研究事業「筋萎縮性側索硬化症・認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症・ユビキチン化封入体を伴う前頭側様変性症の脳・脊髄資源の構築」班会議、2011 年 1 月 22 日、東京。
  22. 「てんかんのある人の自立生活をささえるための事業—地域のネットワークづくり」平成 22 年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉事業助成事業、日本てんかん協会企画委員
  23. 【紙面発表】厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「神経難病患者の退院支援と課題について」研究分担者：溝口功一 共同研究者：堀友輔、芹田里美、堀田真子、橋本睦美

## 7. 学会等における講演

1. 井上有史、てんかん外科治療のタイミング、漆山てんかんセミナー、2010 年 6 月 12 日、静岡。
2. 井上有史、静岡てんかんセミナー、2010 年 8 月 27 日、静岡。
3. 井上有史、てんかんのケーススタディ、第 51 回日本神経学会総会、イブニングセミナー、2010 年 5 月 21 日、東京。
4. 井上有史、第 2 回日本こころとからだの救急学会、基調講演「てんかんおよび類縁疾患と救急」2010 年 9 月 4 日、政策研究大学院大学、東京。
5. 井上有史、てんかんにおける精神医学的な合併症状について。第 44 回日本てんかん学会、ランチョンセミナー、2010 年 10 月 14 日、岡山。
6. 井上有史、てんかんと記憶障害。第 40 回大阪てんかん研究会、2011 年 1 月 15 日、大阪。
7. 井上有史、てんかんセンターと医療連携、第 12 回国立てんかん外科ネットワーク、2011 年 2 月 26 日、奈良。
8. Yushi Inoue, Seizure semiology in adults. ASEPA Teaching Course on Presurgical Evaluation. May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia.
9. Yushi Inoue, Seizure semiology in children. ASEPA Teaching Course on Presurgical Evaluation. May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia.
10. Yushi Inoue, Neuropsychology and psychiatry. ASEPA Teaching Course on Presurgical Evaluation. May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia.
11. Yushi Inoue, General introduction to focal epilepsy. Workshop on focal epilepsy: concept, diagnosis and treatment. Jan 29-30, 2011, Karachi, Pakistan.
12. Yushi Inoue, Incidence, etiology and genes. Jan 29-30, 2011, Karachi, Pakistan.
13. Yushi Inoue, Lateralization and localization. Jan 29-30, 2011, Karachi, Pakistan.
14. Yushi Inoue, Surgical treatment. Jan 29-30, 2011, Karachi, Pakistan.
15. 溝口功一、第 51 回日本神経学会
16. 高橋幸利、急性辺縁系脳炎の臨床と NMDA 型グルタミン酸受容体抗体の役割、第 17 回京都内科神経懇話会、2010 年 4 月 3 日、京都。
17. 高橋幸利、小児難治てんかんの薬物治療 -静岡症例でのエビデンス-、第 52 回日本小児神経学会総会ランチョンセミナー、2010 年 5 月 20-22 日、福岡。
18. 高橋幸利、急性辺縁系脳炎と脳炎後てんかんの臨床と免疫病態、第 31 回栃木てんかん研究会、2010 年 6 月 11 日、宇都宮。
19. 高橋幸利、小児難治てんかんの薬物治療 -トピラマートのエビデンス-、2010 年漆山セ

- ミナー、2010年6月12日、静岡.
20. 高橋幸利、レジデントのためのてんかん診療の基本、南部てんかんセミナー、2010年7月2日、名古屋.
  21. 高橋 幸利、パネルディスカッション、「ヘルペス脳炎と非ヘルペス脳炎の最近のトピックス」自己免疫性脳炎・脳症の病態・診断・治療、第17回ヘルペス感染症フォーラム、2010年8月20-21日、札幌.
  22. 高橋幸利、急性脳炎・脳症の病態と免疫、第4回 東海地区小児神経セミナー、平成22年9月4日、名古屋.
  23. 高橋幸利、抗グルタミン酸受容体抗体と急性脳炎、第8回 福島県神経免疫疾患セミナー、平成22年9月30日、郡山.
  24. 高橋幸利、山崎悦子、最上友紀子、西村成子、シンポジウム2 神経系の浮腫と細胞死、脳炎と興奮毒性、細胞障害性T細胞、第15回 日本神経感染症学会、2010年10月8-9日、福島.
  25. 高橋幸利、山崎悦子、最上友紀子、シンポジウム3「てんかん症候群に対する多面的アプローチ」脳炎・脳症後てんかんの臨床・薬理・免疫アプローチ、第44回日本てんかん学会、2010年10月14-15日、岡山.
  26. 高橋幸利、てんかんの新しい治療、第2回北海道小児神経研究会、2010年10月23日、札幌.
  27. 高橋幸利、山崎悦子、最上友紀子、西村成子、シンポジウム「中枢性脱髄・炎症性疾患とアフレルシス」脳炎における自己抗体とその作用機序、第31回日本アフレルシス学会、2010年11月4-6日、浦安.
  28. 高橋幸利、免疫関連てんかんの話題と新規抗てんかん薬、第22回北九州てんかん懇話会、2010年11月24日、北九州.
  29. 高橋幸利、成育シンポジウム「慢性疾患を持つこどもと日常生活」2. てんかん児と日常生活、第64回国立病院総合医学会学術集会、2010年11月26-27日、福岡.
  30. 高橋幸利、てんかん診療の基本、第39回磐田小児症例検討会、2010年12月2日、磐田.
  31. 高橋幸利、小児難治てんかんの診断と治療、第35回高知県小児てんかん研究会、2010年12月4日、高知.
  32. 高橋幸利、教育講演：脳炎における自己抗体とその作用機序について-アフレルシスの有用性を探る、第14回日本アフレルシス学会中部地方会、2010年12月11日、名古屋.
  33. 高橋幸利、ラモトリギン-光と影-、ラミクタール発売2周年記念講演会、2011年1月29日、大津.
  34. 高橋幸利、てんかん診療の基本と日常生活指導、豊島区医師会学術講演会、2011年2月16日、東京.
  35. 高橋幸利、脳炎・脳症後のてんかんの特徴と自己抗体について、第9回 武蔵野エPILEプシー・カンファレンス、2011年2月19日、東京.
  36. 高橋幸利、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の臨床と病態、第7回福岡神経免疫セミナー、2011年2月25日、福岡.
  37. 高橋幸利、脳炎・脳症の病態と自己免疫、第47回 沖縄小児神経懇話会特別講演会、2011年3月4日、沖縄. 久保田英幹：地域てんかん診療ネットワーク、第1回静岡てんかんネットワーク研究会、2010年4月23日、静岡.
  38. 久保田英幹、長期的視野に基づいたてんかんの薬物治療戦略ーラモトリギンの位置づけを含めてー、第52回日本小児神経学会ランチョンセミナー、2010年5月19日、岡山.
  39. Hidemoto Kubota, Discrimination against epilepsy in Japan, JES-KES Joint Symposium, 2010年6月18日, Seoul.
  40. 久保田英幹、小児てんかんの鑑別診断、静岡小児科医会学術講演会、2010年9月2日、静岡.
  41. 久保田英幹、てんかんの障害とQOL、新潟てんかん懇話会特別講演、2010年11月13日、新潟.

42. 久保田英幹、てんかんにおける医療連携：専門病院と患者の視点から、シンポジウム 2（てんかん医療における診療科の連携）、第 44 回日本てんかん学会、2010 年 10 月 14-15 日、岡山.
43. 久保田英幹、てんかんの障害：日本てんかん学会中国四国地方会特別講演、2011 年 2 月 11 日.
44. 久保田英幹、てんかんのある人とその家族のケア～日本てんかん協会の役割～、山梨県小児科医会、2011 年 3 月 8 日、甲府.
45. 池田 仁、てんかんの薬物療法—明日からすぐに使える, 明快でよく効く薬剤の選択—、東大阪てんかん勉強会、2010 年 10 月 30 日、大阪.
46. 今井克美、てんかんセンターでの新規抗てんかん薬の使用経験、和歌山イーケプラ発売記念講演会、2011 年 3 月 19 日、和歌山.
47. Naotaka Usui. Neocortical Epilepsy with/without MRI visible lesions. ASEPA teaching course: Evaluations for epilepsy surgery, May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia.
48. Naotaka Usui. Indication and technique for intracranial EEG. ASEPA teaching course: Evaluations for epilepsy surgery, May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia.
49. Naotaka Usui. Resective surgery in adults. ASEPA teaching course: Evaluations for epilepsy surgery, May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia.
50. Keiko Usui, Invited speech. Basal temporal language area, Japanese process and perspective of epilepsy surgery. 29th International Congress of Clinical Neurophysiology. October 2010, Kobe, Japan.
51. 小出泰道、てんかんの診断と治療 ～当院の症例をつうじて～、Epilepsy Management Meeting、2010 年 7 月 23 日、厚木.
52. 小出泰道、最新のてんかん治療 ～新規抗てんかん薬の使い分け～、静岡 Epilepsy Forum、2010 年 12 月 22 日、静岡.
53. Yasumichi Koide, Reyuji Neshige, Yushi Inoue, ASEPA Workshop on focal epilepsy: concept, diagnosis and treatment Karachi Pakistan 29<sup>th</sup> January 2011.
54. Kiyohito Terada, Cortico-cortical evoked potential in human brain, 2nd CAAE National Conference on EEG and Neurophysiology, May 5, 2010, Nanchang.
55. 寺田清人、脳波、第 7 回日本神経学会障害教育 hand on セミナー、2010 年 5 月 19 日、東京.
56. Kiyohito Terada, calp EEG, ASEPA teaching course on Presurgical evaluation, May 28 & 29, 2010, Bandung.
57. Kiyohito Terada, Interpretation of intracranial EEG. ASEPA teaching course on Presurgical evaluation, May 28 & 29, 2010, Bandung.
58. Kiyohito Terada, Functional mapping/evoked potential, ASEPA teaching course on Presurgical evaluation, May 28 & 29, 2010, Bandung.
59. 寺田清人、成人てんかん発作の症候学と鑑別診断、第 5 回てんかん学研修セミナー2010 年 10 月 16 日、岡山.
60. Kiyohito Terada, Epilepsy, Hands-on-workshop EEG, October 31, 2010, Kobe, Japan.
61. 寺田清人、てんかん性突発異常および非てんかん性突発異常、第 47 回日本臨床神経生理学会技術講習会、2010 年 10 月 31 日、神戸.
62. 寺田清人、レベチラセタムの臨床試験から、静岡イーケプラ発売記念講演会、2010 年 11 月 11 日、静岡.
63. 寺田清人、最新のてんかん診療、川越てんかん研究会、2010 年 11 月 24 日、埼玉.
64. 寺田清人、てんかん、臨床検査技師実習技能研修、2010 年 12 月 2 日、静岡.
65. 寺田清人、最新のてんかん診療、志太榛原てんかん研究会、2010 年 12 月 3 日、島田.
66. 寺田清人、最新のてんかん診療、第 2 回 Neurologist Conference、2010 年 12 月 18 日、東京.
67. 日吉俊雄、てんかんの脳波・臨床発作像、弘前地区精神科医、2010 年 7 月 3 日、弘前.
68. 松田一己、特別講演、「てんかんと機能画像」、第 65 回岡山東てんかん懇話会、2010 年 6 月 24 日、岡山.
69. 松田一己、特別講演「てんかん診療における神経画像」、第 4 回香川小児てんかん懇話

- 会、2010年11月26日、高松.
70. 八木和一他、レベチラセタムの難治成人部分てんかんに対する長期継続併用療法の有効性と安全性—多施設共同オープン試験、第44回日本てんかん学会、2010年10月14-15日、岡山.
  71. 三原忠紘、ILAEのてんかん分類(2010)をどう理解したらよいか、第16回漆山てんかんセミナー、2010年6月12日、静岡.
  72. 三原忠紘、日本のおてんかん外科～時の流れの中で～、第13回国立てんかん外科ネットワーク、2011年3月26日、
  73. 菅原洋平、シンポジウム 主体的な生活の基盤作り「てんかん患者の動機づけから高次脳機能障害に対するリハビリテーションの取り組み」、第64回国立病院機構総合医学会、2010年11月26日、福岡

## 8. 学会・研究会等の世話人、座長、司会

1. 井上有史、静岡市てんかん地域連絡会議講演会、2010年4月23日、静岡、座長.
2. 井上有史、Dr. Kenneth Laxer 講演会、2010年8月28日、静岡、座長.
3. 井上有史、イーケプラ発売記念講演会、2010年10月2日、東京、座長.
4. 井上有史、第2回日本こころとからだの救急学術大会、2010年9月4日、東京、大会長.
5. 井上有史、第44回日本てんかん学会、シンポジウム「てんかん医療における診療科の連携」、2010年10月4日、岡山、座長.
6. 井上有史、第64回国立病院総合医学会、シンポジウム「てんかんの包括医療」、2010年11月26日、福岡、座長.
7. Inoue Yushi, ASEPA Teaching Course on Presurgical Evaluation. May 28-29. 2010, Bandung, Indonesia ,Organizer.
8. Inoue Yushi, ASEPA Workshop on focal epilepsy: concept, diagnosis and treatment. Jan 29-30. 2011, Karachi, Pakistan, Organizer.
9. 高橋幸利、第52回日本小児神経学会総会、2010年5月20-22日、福岡、座長.
10. 高橋幸利、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業、急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究(H20-こころ-一般-021)平成22年度班会議、2010年11月19日、東京、座長.
11. 高橋幸利、市民シンポジウム「今話題の脳炎脳症について-インフルエンザ脳症、ヘルペス脳炎、非ヘルペス性辺縁系脳炎-」2010年11月20日、東京、司会、世話人.
12. 高橋幸利、NHO神経筋ネットワーク研究グループ会議、2010年11月26日、福岡、司会、世話人.
13. 高橋幸利、第67回東海てんかん集談会、2011年2月5日、名古屋、座長.
14. 高橋幸利、国立病院機構神経・筋疾患研究ネットワーク 合同班会議、2011年3月11日、東京、座長.
15. 久保田英幹、第1回日本てんかん学会東海北陸地方会、2010年7月10日、名古屋、座長.
16. 久保田英幹、第44回日本てんかん学会、2010年10月15日、岡山、一般講演座長.
17. 重松秀夫、第16回漆山てんかん懇話会セミナー、2010年6月12日、静岡
18. 松田一己、第46回日本てんかん学会、2010年10月15日、岡山、座長.
19. 八木和一、てんかん医療から見た医療福祉サービスの地域連携、大分大学人間関係学部創立10周年記念講演会、別府、11月
20. 今井克美、第44回日本てんかん学会、2010年10月15日、岡山、座長.
21. 藤原建樹、第44回日本てんかん学会、2010年10月15日、岡山.
22. 三原忠紘、第44回日本てんかん学会、2010年10月14日、岡山.
23. 三原忠紘、第34回日本てんかん外科学会、2011年1月21日、広島.
24. 菅原洋平、静岡県精神科作業療法研究会、2010年7月10日、静岡.
25. 菅原洋平、静岡県精神科作業療法研究会、2011年2月26日、伊東.



## 9. 講演など（一般啓蒙）

1. 井上有史、てんかん治療の最前線：新薬の治療効果、日本てんかん協会東京都支部、第15回てんかん援助セミナー、2010年8月3日、東京。
2. 高橋幸利、てんかんの基本的知識、2010年度てんかん専門職セミナー、2010年8月6日、静岡。
3. 高橋幸利、小児てんかん、てんかん看護セミナー、2010年10月21-22日、静岡。
4. 高橋幸利、回復期のてんかん治療、市民シンポジウム「今話題の脳炎脳症について-インフルエンザ脳症、ヘルペス脳炎、非ヘルペス性辺縁系脳炎-」2010年11月20日、東京。
5. 高橋幸利、てんかんの診断から治療のアウトライン、てんかん学セミナー、2011年1月14-15日、静岡。
6. 高橋幸利、Rasmussen 症候群とてんかん自己免疫病態、てんかん学セミナー、2011年1月14-15日、静岡。
7. 寺田清人、電気生理学的診断（脳波など）、てんかん学セミナー、2010年8月27-28日、静岡。
8. 久保田英幹、てんかんと障害。てんかん協会医療講演会、日本てんかん協会北海道支部、2010年6月26日、旭川。（キャラバン企画にて当院と共催）
9. 久保田英幹、てんかんと障害。第50回てんかん市民講座、日本てんかん協会栃木県支部、2010年10月31日、宇都宮。（キャラバン企画にて当院と共催）
10. 久保田英幹、てんかんの発作とその治療について～新薬の情報も含めて～、てんかん講座、日本てんかん協会長野県支部、2010年11月14日、松本。（キャラバン企画にて当院と共催）
11. 久保田英幹、てんかんの臨床～発作の介助と新薬～、てんかん講座、日本てんかん協会鹿児島県支部、2010年12月19日、鹿児島。（キャラバン企画にて当院と共催）
12. 久保田英幹、重松秀夫、個別相談、てんかん個別相談会、日本てんかん協会三重県支部、2011年2月19日、四日市。（キャラバン企画にて当院と共催）
13. 久保田英幹、てんかんと家族。精神障害者家族支援プログラム、日本てんかん協会北海道支部、2011年2月26日、旭川。
14. 久保田英幹、てんかんと家族。精神障害者家族支援プログラム、日本てんかん協会北海道支部、2011年2月27日、釧路。
15. 池田 仁、「大人のでんかん」第3回てんかん市民講座 日本てんかん協会神奈川県支部 2010年2月21日、藤沢。
16. 池田 仁、「成人のでんかん」てんかん医療講演会&医療相談会 日本てんかん協会福井県支部 2010年7月18日、福井。
17. 池田 仁、「てんかん発作の見方と対処」てんかん講座、牧ノ原やまばと学園、2010年8月4日、牧之原市。
18. 池田 仁、成人のでんかん、てんかん看護セミナー、2010年10月21-22日、静岡。
19. 今井克美、ケトン食療法、第33回てんかん基礎講座（日本てんかん協会）2010年7月30日（大阪）、8月4日（東京）。
20. 今井克美、てんかんの診断と治療に関する最近の話題から、NPO 法人静岡県難病団体連絡協議会主催 難病医療総合相談会、2011年6月13日。
21. 大谷英之、小児のでんかん症候群、てんかん学セミナー、2011年1月14-15日、静岡。
22. 重松秀夫、脳性麻痺とてんかん、H22年度心身障害児療育指導者講習会、2010年7月30日、静岡。
23. 重松秀夫、全般てんかんの発作症状と脳波、てんかん学セミナー、2011年1月14-15日、静岡。
24. 重松秀夫、てんかん医療個別相談会、2011年2月19日、四日市。
25. 高山留美子、小児のでんかんの治療、NPO 法人静岡県難病団体連絡協議会主催 合同難病・医療相談会、平成22年10月31日、沼津。
26. 最上友紀子、発作時脳波の読み方、てんかん学セミナー、2011年1月14-15日、静岡。

27. 芳村勝城、電気生理学的診断（脳磁図など）、てんかん学セミナー（成人）、2010年8月27-28日、静岡。
28. 杉山 修、発達障害の子ども達への支援—臨床現場から思うこと—、静岡東部子どもの心勉強会、2010年5月5日、三島。
29. 杉山 修、発達障害をもつ子どもの認知特性・行動特性の理解—授業づくりに向けた実態把握のために—、静岡県立南部特別支援学校研修会、2010年5月31日、静岡。
30. 杉山 修、発達につまずきをもつ乳幼児の発達支援—コミュニケーションの苦手な子どもを中心に—、三島市立公立保育園障害児研究会、2010年6月3日、三島。
31. 杉山 修、コミュニケーションの苦手な子どもへの指導—具体的な支援のすすめ方—、静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会東部地区研修会、2010年6月18日、御殿場。
32. 杉山 修、発達障害を併せ持つてんかんの子どもへの支援について、日本てんかん協会愛媛県支部、2010年8月17日、松山。
33. 杉山 修、虐待を受けた児童生徒への支援、児童養護施設松風荘職員研修会、2010年9月2日、沼津。
34. 杉山 修、虐待を受けた児童生徒への支援～愛着の育ちをめざして～、静岡県立静岡北特別支援学校安部分教室職員研修会、2010年9月24日、静岡。
35. 杉山 修、個別の指導計画の意義と実際、特別支援教育研修 13(通常の子どもに対応した個別の指導計画) 静岡県教育センター、2010年10月8日、三島。
36. 杉山 修、発達障害の子ども達への支援～特別支援教育コーディネーターに向けて～、田方教育会館第3教育講座、2010年11月16日、伊豆の国。
37. 杉山 修、特別支援教育～高等学校での気づき～、静岡県立富士高等学校、2010年11月25日、富士。
38. 杉山 修、発達障害のある子どもへの支援—医療機関の立場から—、静岡県臨床心理士会研修会(発達障害研修)、2011年2月6日、静岡。
39. 杉山 修、特別支援教育について—最近の動向—、函南町立函南小学校研修会、2011年2月16日、函南。
40. 橋本睦美、脳炎後遺症と社会福祉制度、市民シンポジウム「今話題の脳炎脳症について-インフルエンザ脳症、ヘルペス脳炎、非ヘルペス性辺縁系脳炎-」、2010年11月20日、東京都千代田区。
41. 橋本睦美、静岡てんかん・神経医療センターにおける相談窓口の現状と取り組みについて、平成22年度患者窓口情報交換会、2011年2月9日、静岡。
42. 堀 友輔、てんかん協会静岡支部 個別相談、2011年2月27日、静岡。
43. 堀 友輔、静岡県難病相談支援センター 合同難病医療・生活相談会、2010年9月5日、静岡。
44. 堀 友輔、スモン検診 個別相談 2010年9月11日 静岡てんかん神経医療センター。
45. 菅原洋平、生涯学習制度の概要、静岡県作業療法士協会、2010年4月29日、静岡。

## 10. メディア（新聞、放送など）

1. 井上有史、てんかん治療の最新情報、今日の健康、NHK、放送、2010年7月21日
2. 井上有史、MOSES ワークブック：てんかん学習プログラム、教育医事新聞、2011年1月25日
3. 高橋幸利、静岡新聞、2010年4月13日朝刊、文部大臣表彰受賞 記事
4. 高橋幸利、Medical Tribune2011年3月24日、免疫介在性脳炎に関する記事で紹介される。
5. 久保田英幹、中学保健ニュース（少年写真新聞社）てんかんを持つ子どもの学校生活での対応 第1回 知っておきたい基礎知識 その1、2011年1月8日。
6. 久保田英幹、中学保健ニュース（少年写真新聞社）てんかんを持つ子どもの学校生活での対応 第1回 知っておきたい基礎知識 その2、2011年2月8日。
7. 藤原建樹、座談会てんかん治療のいま。前編 新薬登場の意義を探る Monthly ミクス

- 9月号 2010年、p30-33.
8. 藤原建樹、座談会てんかん治療のいま. 後編 外科療法の意義を探る Monthly ミクス 10月号 2010年、p30-32.
  9. 藤原建樹、Medical Tribune 2011年2月7日、第2部企画「てんかん特集」座談会 てんかん診療の今後.

## 11.論文査読：学術雑誌名と査読論文数

1. Yushi Inoue:Seizure 3
2. Yushi Inoue:Epileptic disorders 1
3. Yushi Inoue:Epilepsy & Behavior 1
4. Yushi Inoue:Brain 1
5. Yushi Inoue:American Journal of Medical Genetics 1
6. Yushi Inoue:Epilepsia 1
7. Yukitoshi Takahashi : Brain & Development 2
8. Yukitoshi Takahashi:Annals of Neurology 1 ;
9. 高橋幸利、日本小児科学会誌 1
10. Katsumi Imai : Pediatrics International 1
11. Katsumi Imai : Brain Dev 1
12. Kiyohito Terada: Clinical Neurophysiology 1
13. Kiyohito Terada: Epileptic disorders 1
14. 溝口功一、国立医療学会雑誌「医療」 3
15. Naotaka Usui: Clinical Neurophysiology 1
16. Kasuichi Yagi:Epileptologia,International Journal for Clinical and Experimental Research 1

## 12. 学術雑誌編集委員など

1. Yushi Inoue:Editorial board Epileptic disorders
2. Yushi Inoue:Editorial board: Neurology Asia
3. Yushi Inoue:Epilepsy 編集主幹
4. Yushi Inoue:Editorial board: Epilepsy and Behavior
5. 井上有史、てんかん治療研究振興財団企画委員
6. 井上有史、日本てんかん医療研究会代表世話人
7. 井上有史、てんかんの精神症状と行動研究会世話人
8. Yushi Inoue:Member of ASEPA
9. Yushi Inoue:Member of ILAE Sub-Commission on Distance Education
10. 井上有史、日本てんかん学会東海北陸地方会運営委員長
11. 井上有史、東海てんかん集談会代表世話人
12. 井上有史、日本てんかん学会理事、医療費問題検討委員会委員、Juhn & Mary WADA 奨励賞選考委員会、国際問題委員会、利益相反委員会、長期計画委員会、各委員
13. 井上有史、日本情動学会評議員
14. 井上有史、日本神経心理学会評議員
15. 井上有史、日本高次脳機能障害学会評議員
16. Yukitoshi Takahashi: Reviewer, Journal of Pediatric Neurology, 2008-
17. Yukitoshi Takahashi: Reviewer, EASTERN JOURNAL OF MEDICINE (ISSN 1301-1883), 2009-
18. Yukitoshi Takahashi: Editorial Board, Epileptologia, 2010-
19. 溝口功一、国立医療学会雑誌「医療」編集委員
20. Matsuda K: Neuropathology 1
21. 井上有史、静岡県治験ネットワーク支援倫理委員会委員
22. 溝口功一、静岡県治験ネットワーク支援倫理委員会委員
23. 高橋幸利、静岡県治験ネットワーク支援倫理委員会委員

24. 三島信行、静岡県治験ネットワーク支援倫理委員会委員
25. 山本吉章、静岡県治験ネットワーク推進部会委員
26. 山内慎吾、静岡県知的障害者福祉協会・静岡県内在宅重症心身障害児(者)支援ネットワーク会議幹事

### 13.国、自治体等の審議会委員等に任命された件数

1. 井上有史、静岡県治験ネットワーク支援倫理委員会委員.
2. 井上有史、静岡市精神障害者保健福祉手帳及び通院医療費公費負担判定会委員.
3. 溝口功一、厚生労働省 神経難病患者在宅医療支援事業 クロイツフェルト・ヤコブ病都道府県専門医.
4. 溝口功一、厚生労働省 薬事審議会専門委員.
5. 溝口功一、静岡市介護保険認定審査会委員.
6. 小出泰道、静岡県委託事業 高次脳機能障害患者相談会 2010年7月12日 藤枝市立保健福祉センター.
7. 松田一己、厚生労働省 脳死下の臓器提供事例に係わる検証会議の医学的検証作業グループ委員.
8. 八木和一、静岡市精神医療審議会委員、2009-2011年.
9. 八木和一、静岡市精神障害保健福祉手帳及び通院医療公費負担判定会委員 2009-2011年.
10. 八木和一、てんかん研究治療財団企画委員長、2008-2010年.
11. 橋本睦美、静岡市障害程度区分認定等審査会委員.
12. 橋本睦美、静岡県難病患者就労支援検討会委員.
13. 杉山 修、静岡県教育委員会 静岡県障害児(者)支援連携協議会委員.

### 14.非常勤講師等になり外部で教育を行った件数

1. 井上有史、てんかんにおける精神医学的な併存症状について、京都大学精神科セミナー、京都、2010年2月16日.
2. 高橋幸利、東京保健医療大学看護学部、先天性代謝異常、2010年12月7日.
3. 高橋幸利、東京保健医療大学看護学部、先天奇形、2010年12月7日.
4. 高橋幸利、東京保健医療大学看護学部、脳性麻痺と重症心身障害、2010年12月7日.
5. 高橋幸利、東京保健医療大学看護学部、てんかん、2010年12月7日.
6. 久保田英幹、てんかん□障害特性と職業問題□.厚生労働大臣指定講習 障害者職業総合センター、千葉、2010年4月14日.
7. 橋本睦美、精神障害者の理解と対応、静岡県及び市町職員向け研修「障害のある方とのコミュニケーションセミナー」、静岡、2011年2月10日.
8. 村松正子、静岡医療センター附属静岡看護学校講義 1回
9. 村松亜紀、静岡難病患者在宅療養支援研修会講義 1回
10. 舩田俊一、静岡医療センター附属静岡看護学校講義 1回
11. 井場木祐治、静岡医療専門学校講義 4回.

### 15.精神鑑定件数

なし

## 16.表彰・受賞

1. 高橋幸利、平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）、感染症に伴う自己免疫介在難治神経疾患の病態診断法の開発、2010年4月13日.
2. 高橋幸利、国立病院機構理事長表彰、2010年5月28日.
3. 小出泰道、JES Prize ガバペンチンの有効性と安全性についての多施設共同研究 てんかん研究 2009;(1):12-21.
4. 八木和一、Asian and Oceanian Outstanding Achievement Epilepsy Award, October 23,2010,Melbourne, Australia, 第8回アジアオセアニアてんかん学会.
5. 近藤聡彦、第16回日本脳神経外科学会奨励賞 平成22年10月受賞.
6. 堀米ゆみ、日本てんかん学会 Sponsored Award (UCB-Otsuka 賞).
7. 堀米ゆみ、第9回ヨーロッパてんかん学会 (2010年6月27日-7月1日、Rhodes, Greece) 参加.

## 17.発明・特許出願等

1. 平成17年10月6日：国立病院機構発医第1006002号にて、「頭部保護具」が職務発明であると認定された、発明者：高橋幸利、他。⇒特願2005-278562（平成17年9月26日）出願：株式会社プロップ、国立病院機構理事長 矢崎義雄、平成23年3月11日登録：特許第4700458号.